



2016年3月期（平成28年3月期） 決算説明会



V T ホールディングス株式会社
2016年5月23日・24日

上場市場：東証、名証1部 （証券コード：7593）



2016年3月期 決算サマリー

●売上高は過去最高を更新

✓売上高・営業利益・経常利益は、前期越え

●財務体質の改善

✓自己資本は、前期末比18億円増加し、327億円

✓自己資本比率は、前期末比1.1%改善し、34.4%

●中間10円、期末8円、年間配当18円（前期比＋4円）

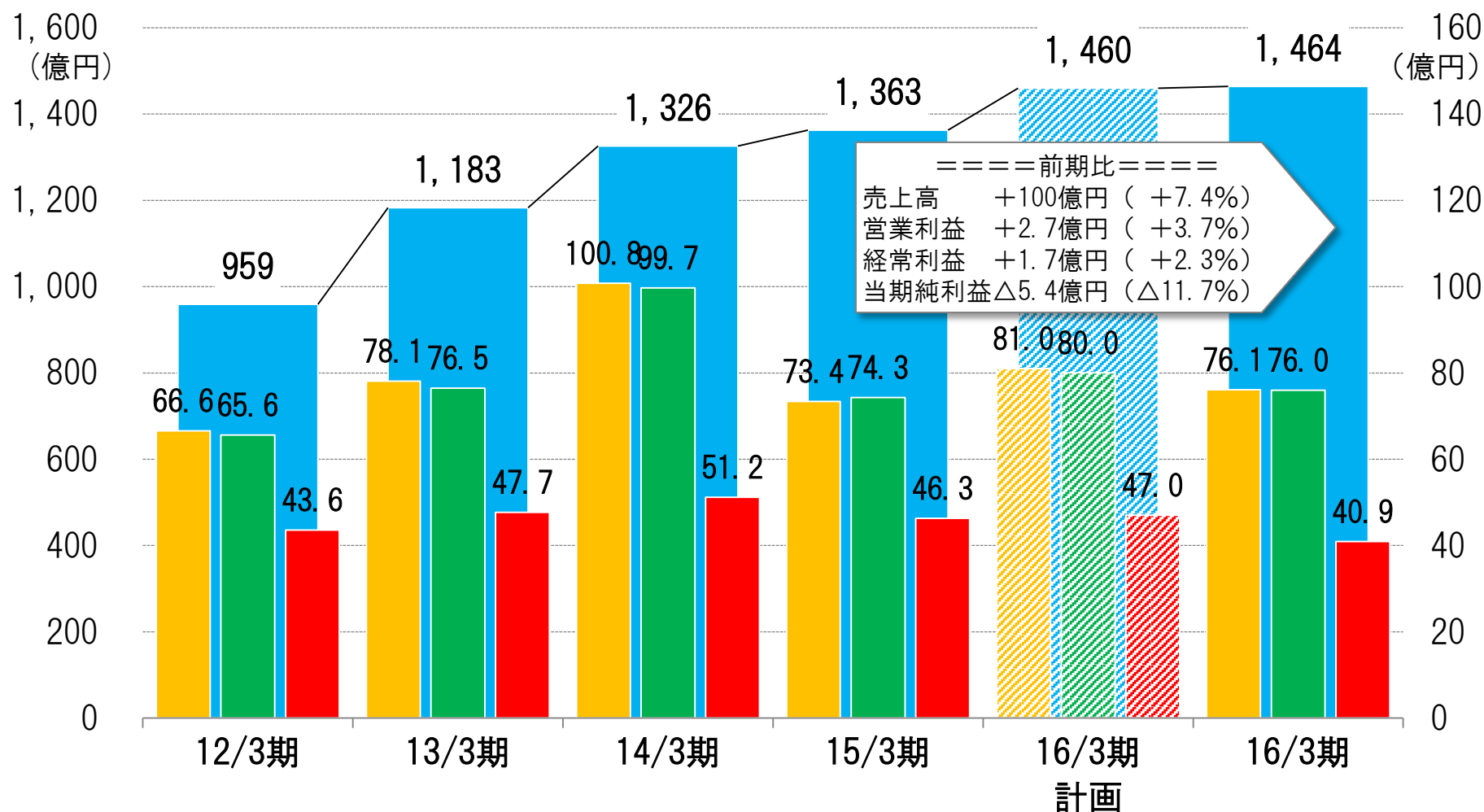
✓中間配当10円には、一部指定記念配当2円を含む

2016年3月期 P/L

前期に実施したM & Aが通年で寄与し、売上高は前期比7%増

営業利益・経常利益は微増、当期利益は11%のマイナス

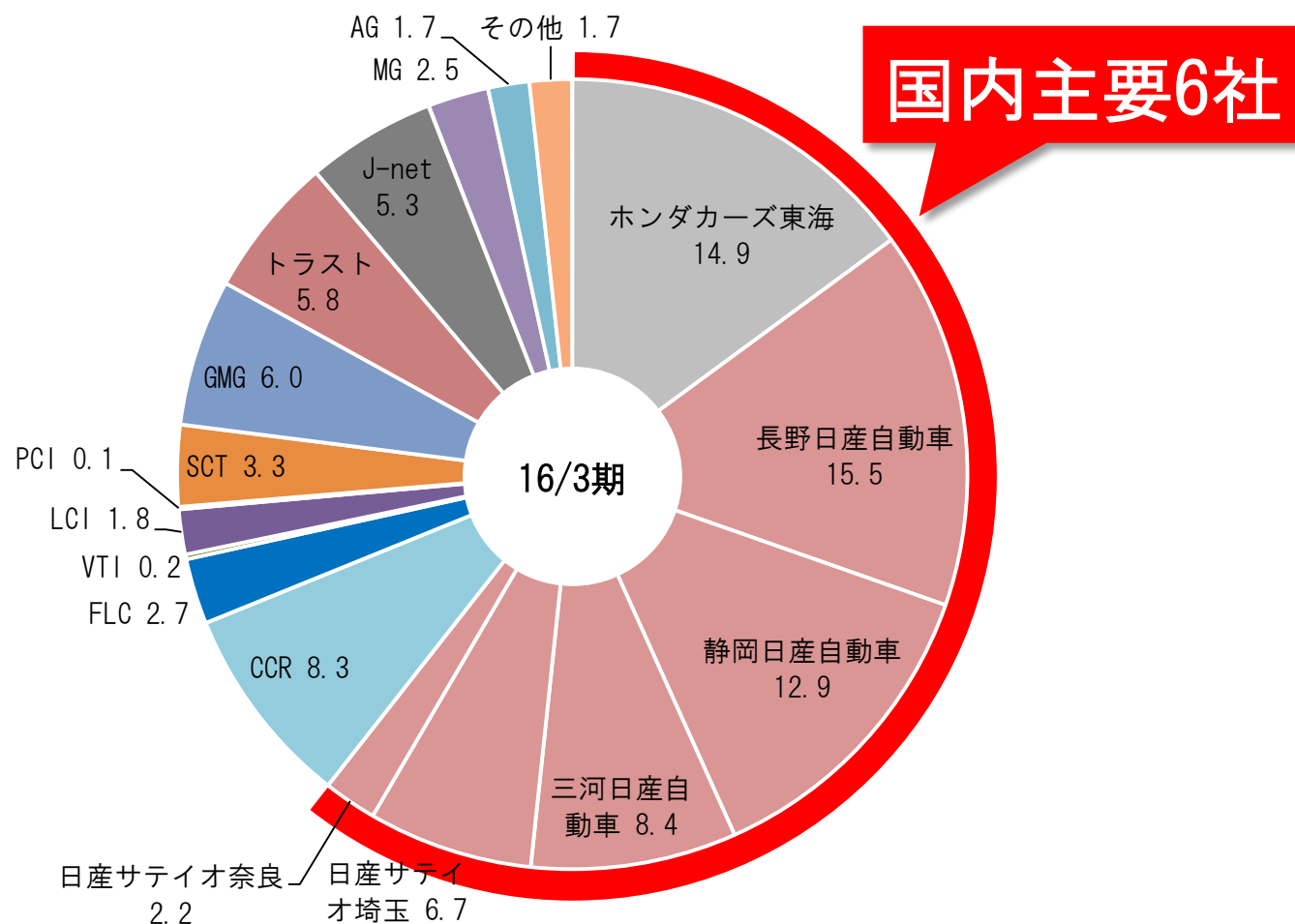
■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) ■ 経常利益(右軸) ■ 当期純利益(右軸)



会社別売上高構成比

国内主要6社で全体の60%、日産系ディーラーの比率が46%

国内主要6社（ホンダカーズ東海と日産系ディーラー5社）で、連結売上高1464億円のうち887億円を占める



海外売上高比率

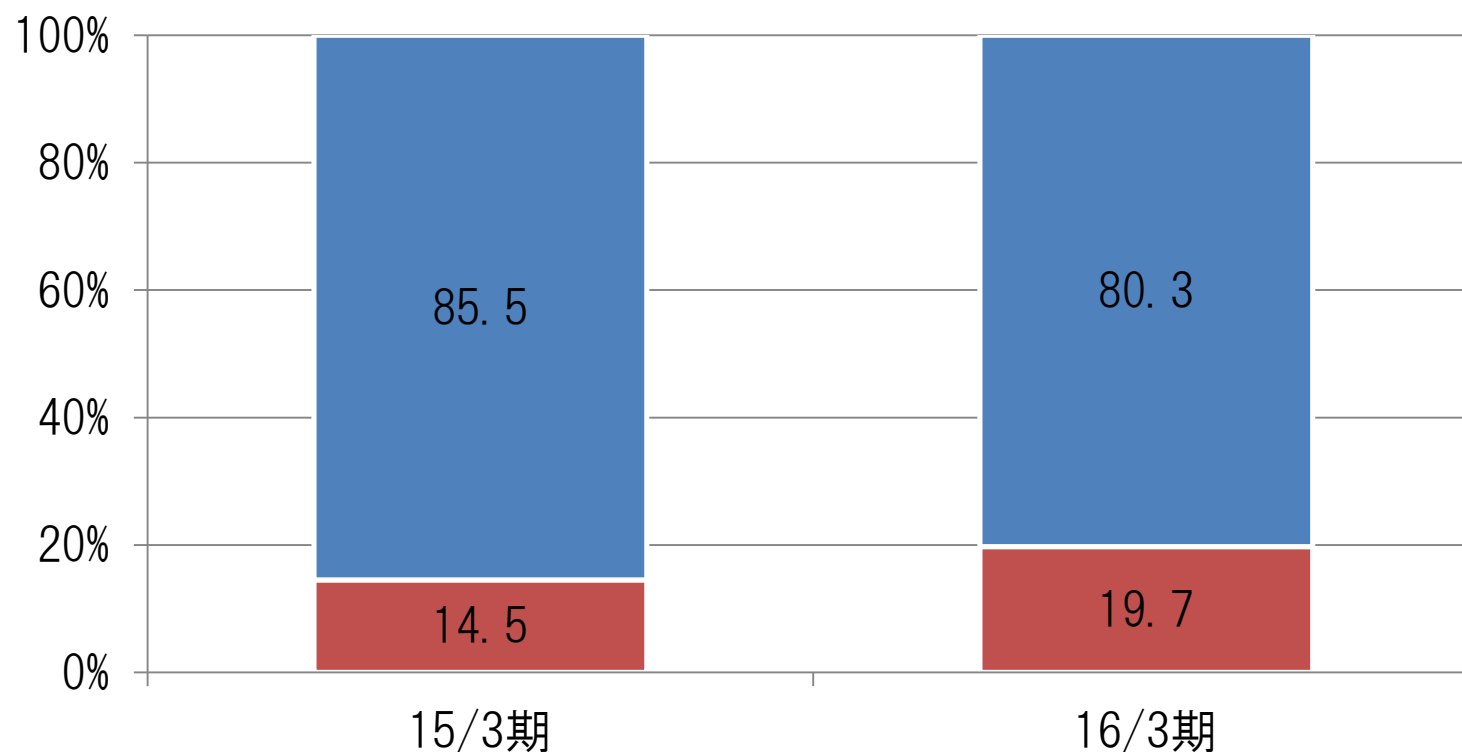
M & Aにより、海外ディーラーの比率が上昇

2014年10月にオーストラリアのSCOTTS MOTORS ARTARMON（年商約60億円）を子会社化。

2014年12月にイギリスのGRIFFIN MILL GARAGES（年商約90億円）を子会社化。

【海外売上高比率】

■ 海外売上高 ■ 国内売上高



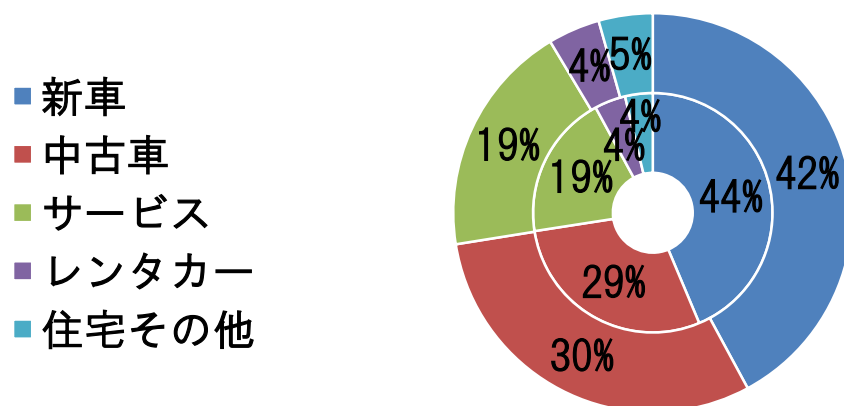
※ 上図の海外売上高は、海外ディーラーの売上高を集計しており、中古車の海外輸出分の売上高は含んでおりません。

事業部門別売上高・粗利益の構成比

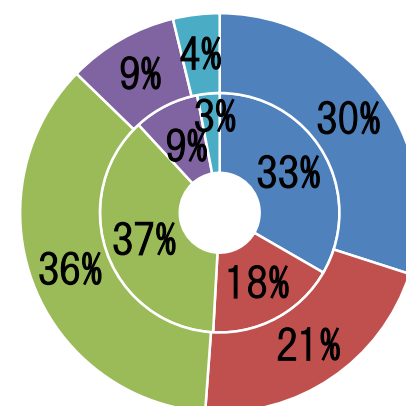
前期に低迷した中古車部門の粗利率が回復

売上高に占める割合は、前期とほぼ同比率。粗利益は、新車部門が減少し、中古車部門が増加。

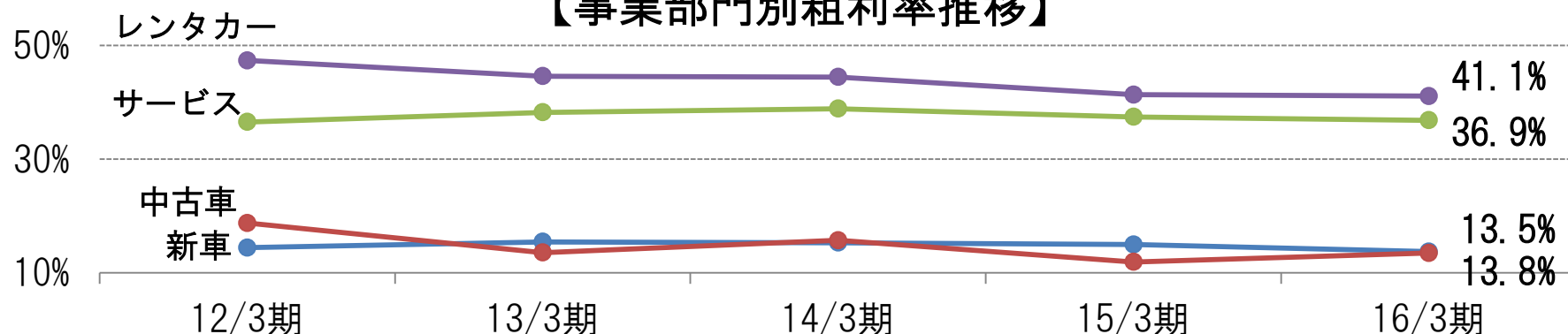
【事業部門別売上構成比】
内側:15/3期 外側:16/3期



【事業部門別粗利構成比】
内側:15/3期 外側:16/3期



【事業部門別粗利率推移】



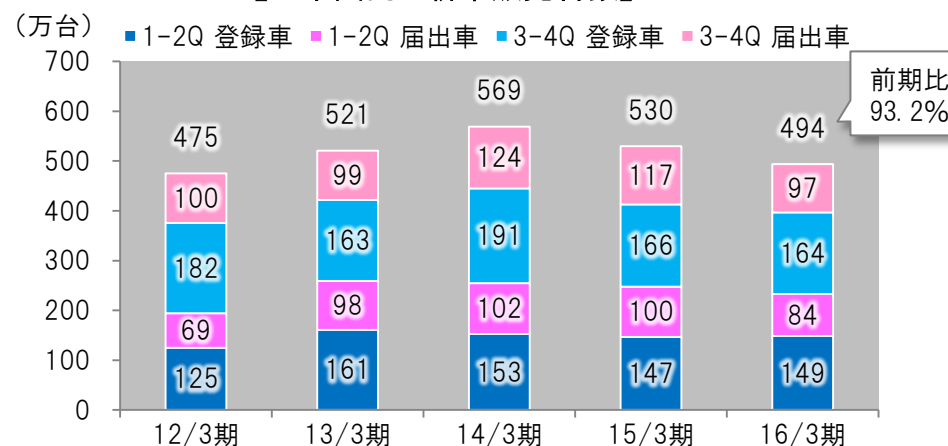
部門別の状況-新車部門

厳しい新車販売環境の中、M & Aにより、増収を確保

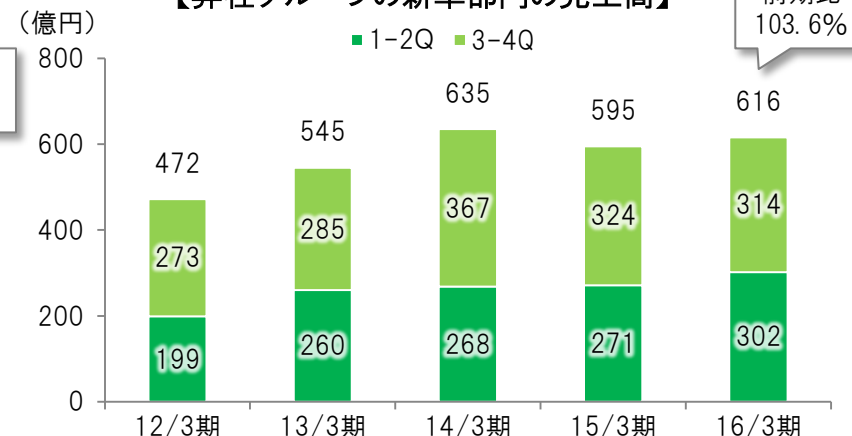
国内新車市場における販売台数は、届出車の減少が影響し、前年同期比93.2%

当社グループの新車販売は、M & Aにより市場の落ち込み分をカバーし、売上高は103.6%

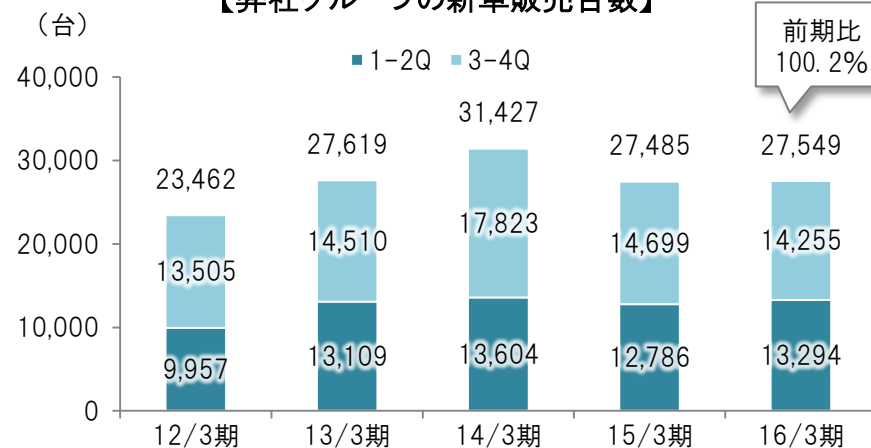
【日本国内の新車販売台数】



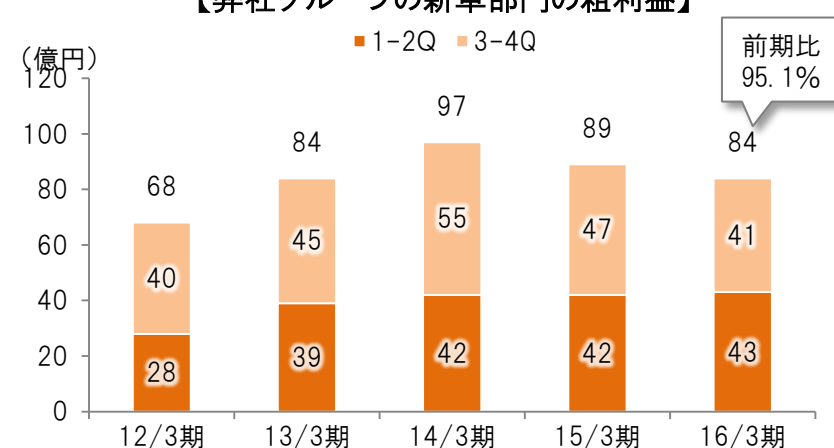
【弊社グループの新車部門の売上高】



【弊社グループの新車販売台数】



【弊社グループの新車部門の粗利益】



※ 左上図 新車市場における登録車・届出車の販売台数は、社) 日本自動車販売協会連合会調べです。また届出車とは、軽自動車のことを指します。

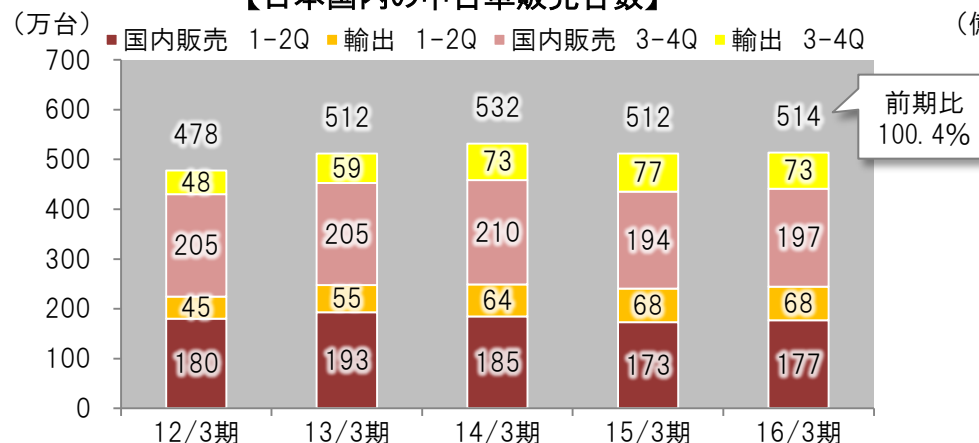
部門別の状況-中古車部門

中古車部門の売上・粗利益としては、過去最高を更新

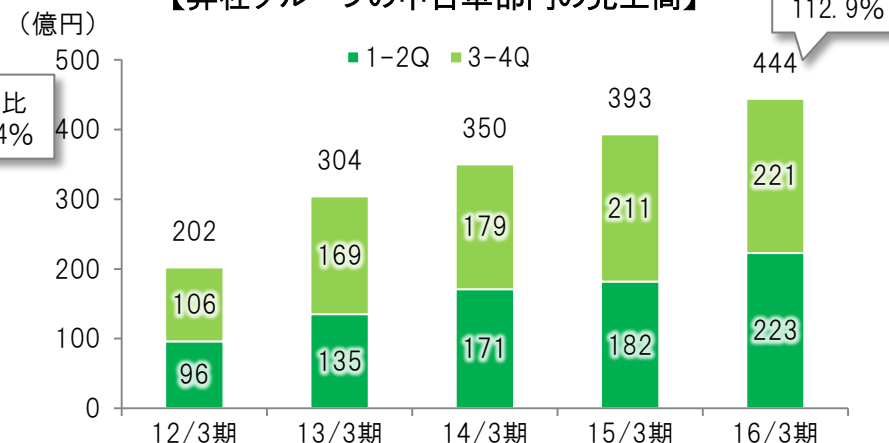
中古車市場の販売台数は、前年同期比100.4%と前期並み

当社グループの中古車部門は、販売単価・台当たり粗利が大幅改善し増収増益

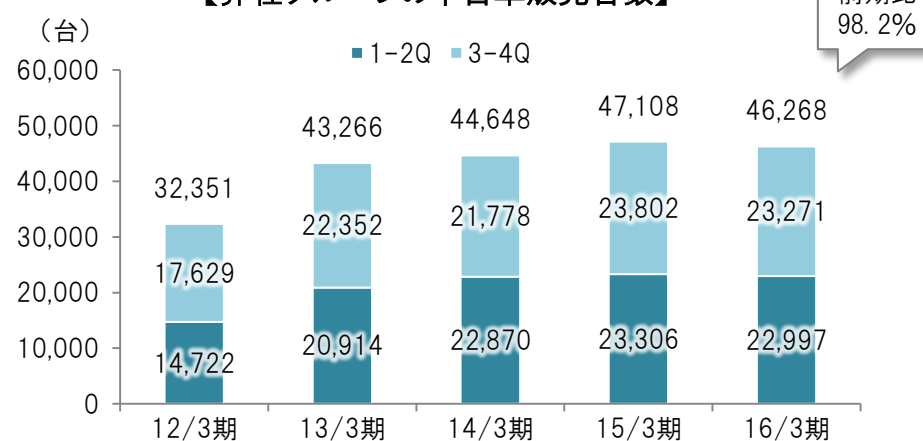
【日本国内の中古車販売台数】



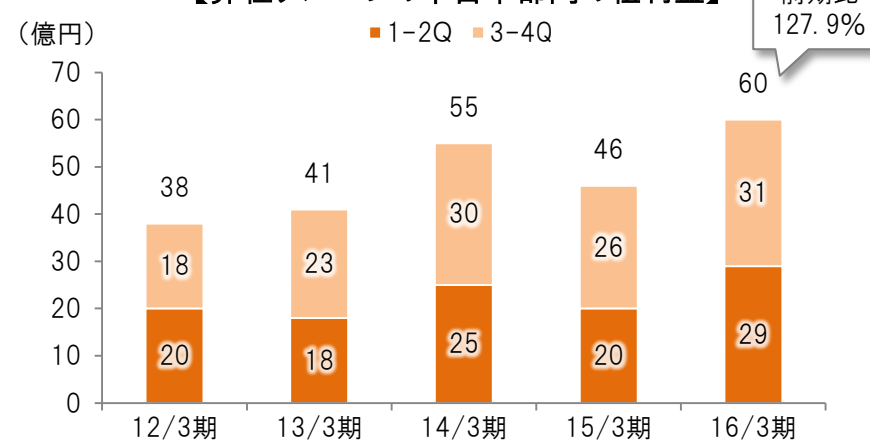
【弊社グループの中古車部門の売上高】



【弊社グループの中古車販売台数】



【弊社グループの中古車部門の粗利益】



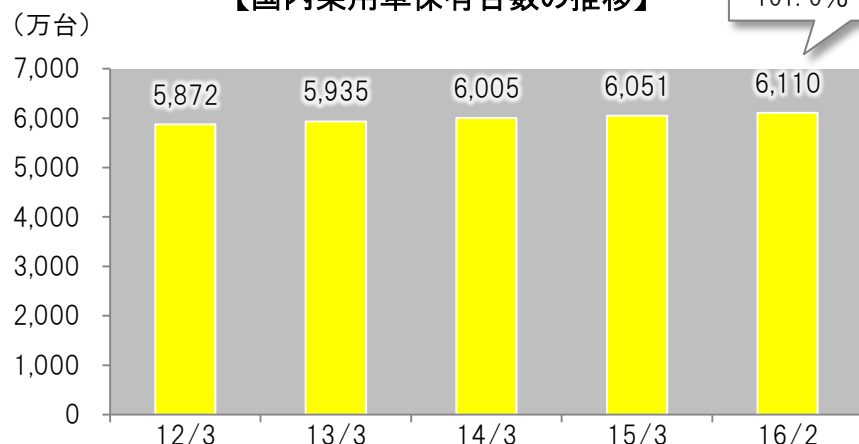
※ 左上図 中古車市場における国内販売台数、輸出台数は、自販連の中古車登録台数、中古車輸出抹消台数であります。

部門別の状況-サービス部門

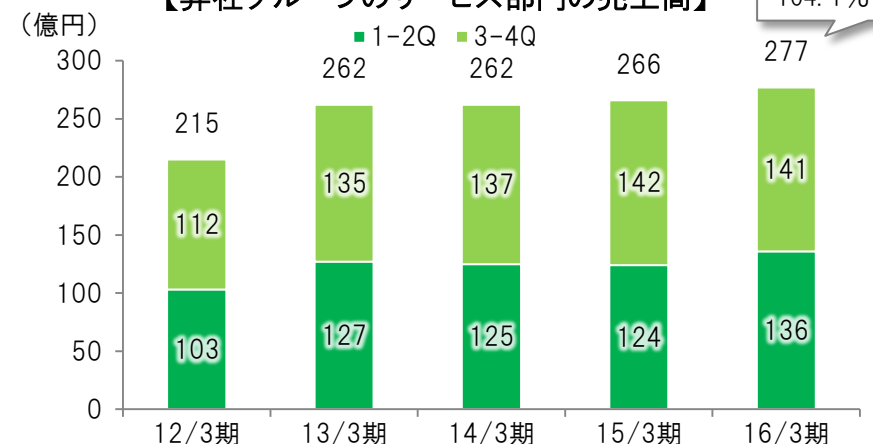
当社グループのサービス部門は、増収増益

国内市場は、保有台数が安定推移。

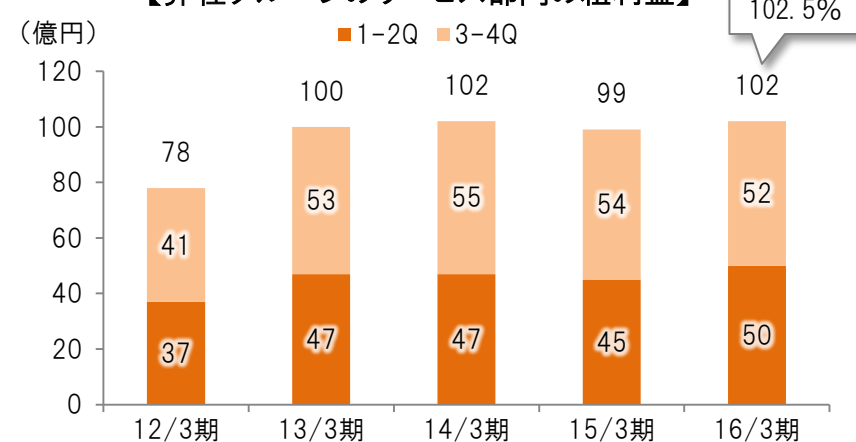
【国内乗用車保有台数の推移】



【弊社グループのサービス部門の売上高】



【弊社グループのサービス部門の粗利益】



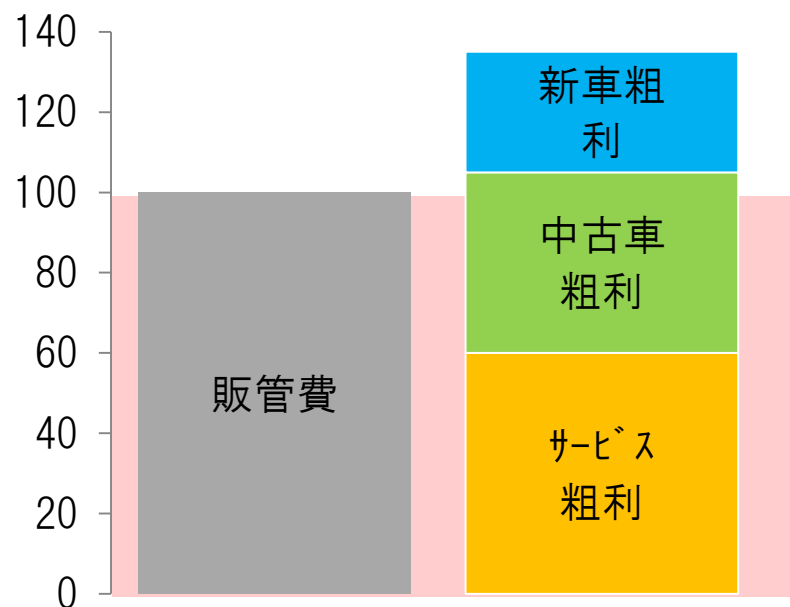
※ 左上図 国内乗用車保有台数は、財)自動車検査登録情報協会調べです。

基盤収益カバー率

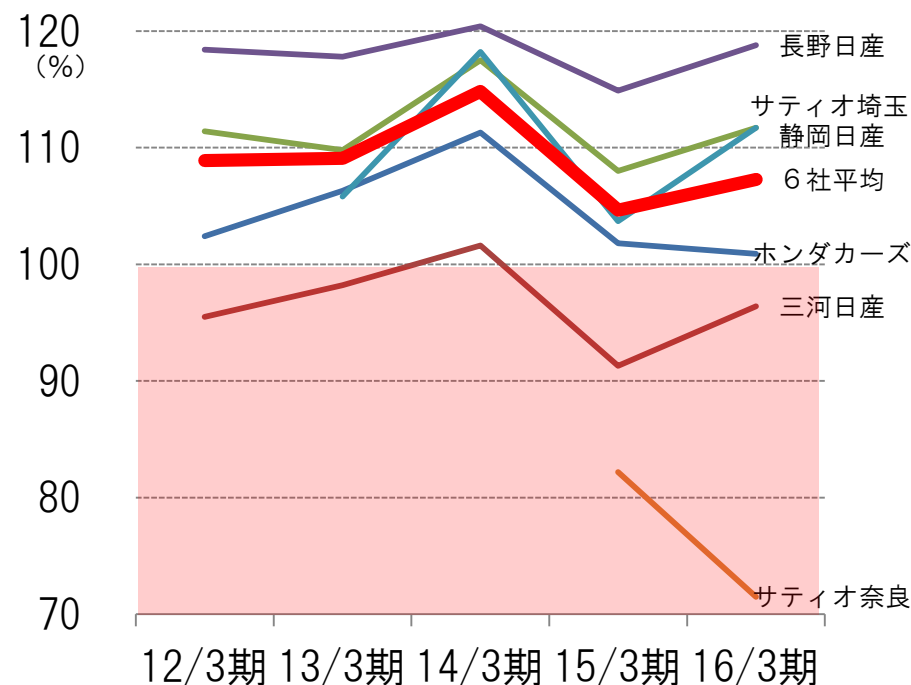
主要ディーラー平均で107.3%

メーカー次第となる新型車の発売サイクル等、外部要因に左右されやすい新車部門以外で、コストを賄う「新車が売れなくても赤字にならない企業体質」を確立
 主要6社で、グループ全体の売上高の約60%を占める

基盤収益カバー率 = 新車以外の粗利益 ÷ 販管費



【基盤収益カバー率】



※ 基盤収益カバー率については、連結調整など考慮前の各社個別の決算数値に基づきつつ、一部6社比較の為の修正を行っております。

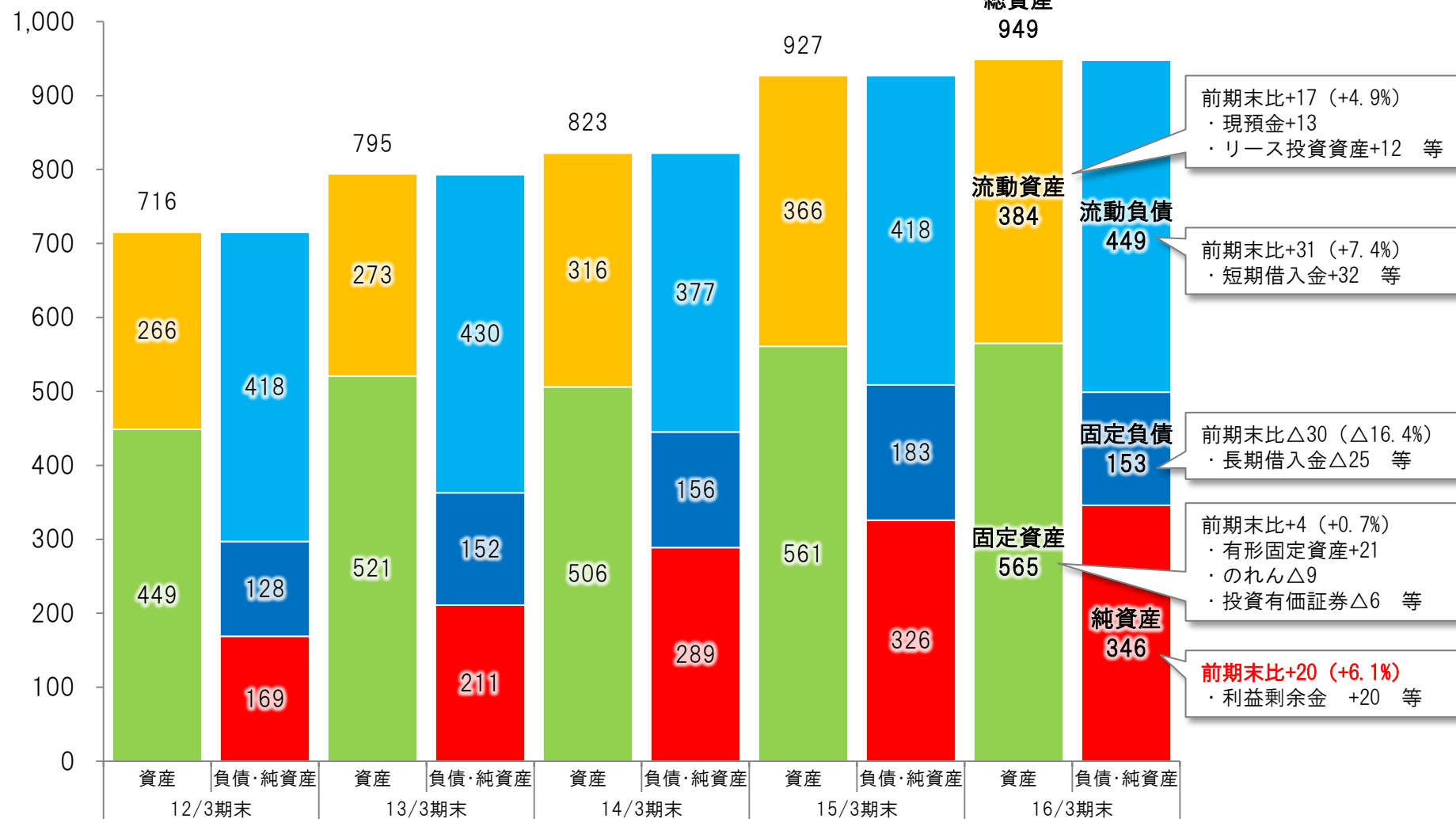
※ 平均は、各社の売上高に応じて、加重平均しております。

2016年3月期 B / S

M & A、店舗の移転・リニューアル等の影響により総資産が増加

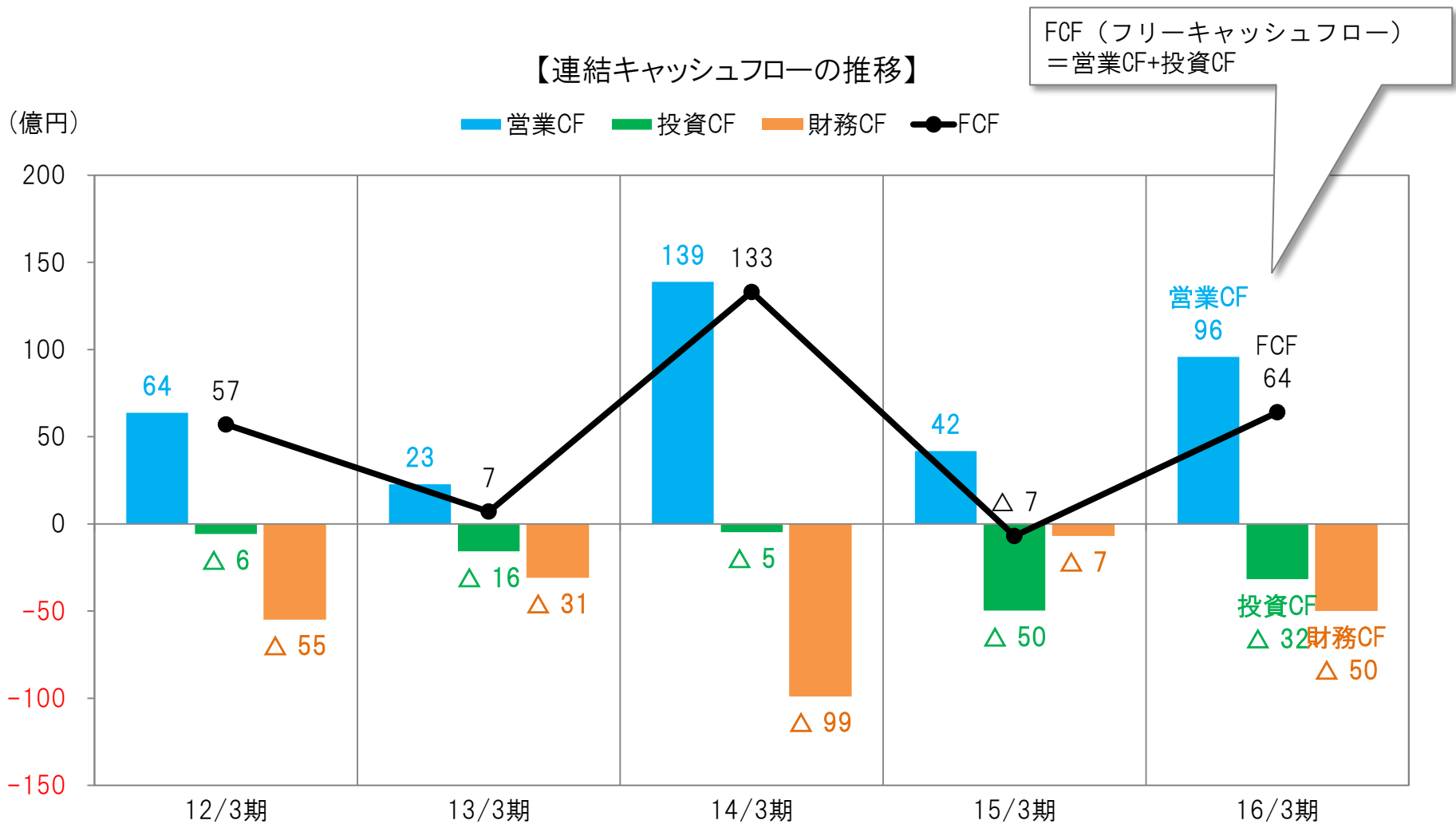
純資産は、利益剰余金の蓄積に伴い、安定的に増加

(億円)



フリーキャッシュフローは、64億円に回復

M & A や新規出店等の成長戦略を展開（投資CF△32億円）

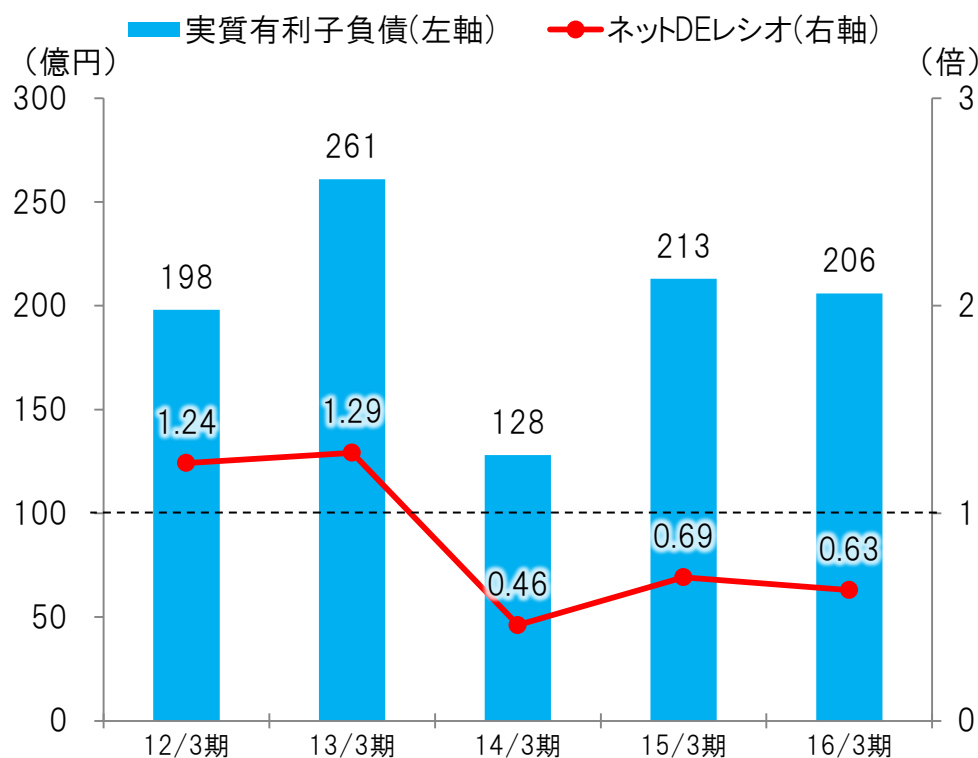


実質有利子負債

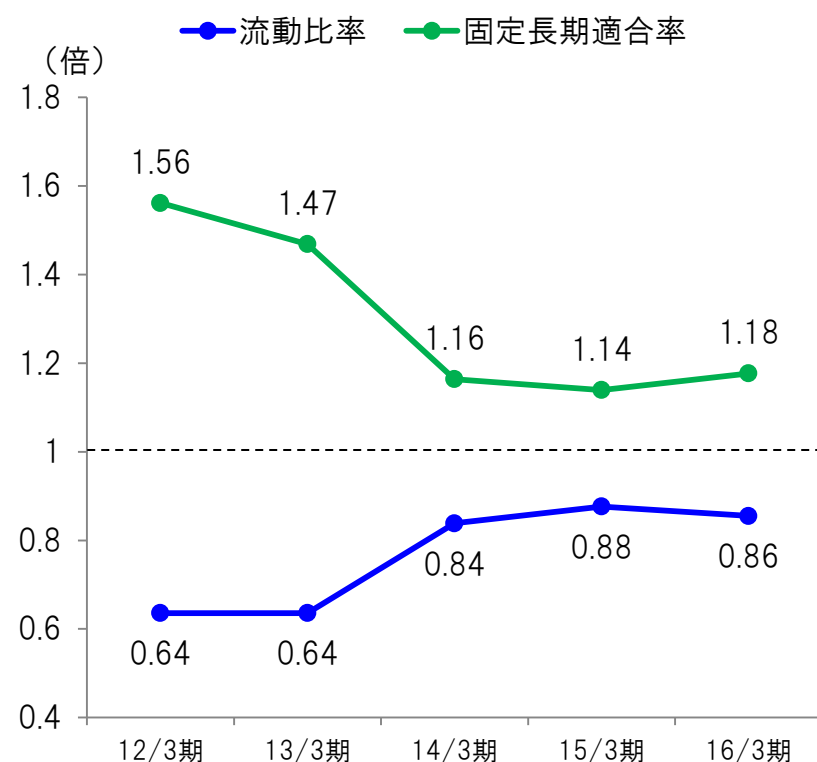
ネットDEレシオは現状維持

新規出店、移転、リニューアル等の投資により、実質有利子負債は微増

【実質有利子負債】



【流動比率・固定長期適合率】



※実質有利子負債＝有利子負債－現預金

※ネットDEレシオ(実質負債資本倍率)＝実質有利子負債÷自己資本

※流動比率＝流動資産÷流動負債

※固定長期適合率＝固定資産÷(固定負債+自己資本)

自動車販売拠点数

国内・海外ともに、M & A で販売拠点数が増加

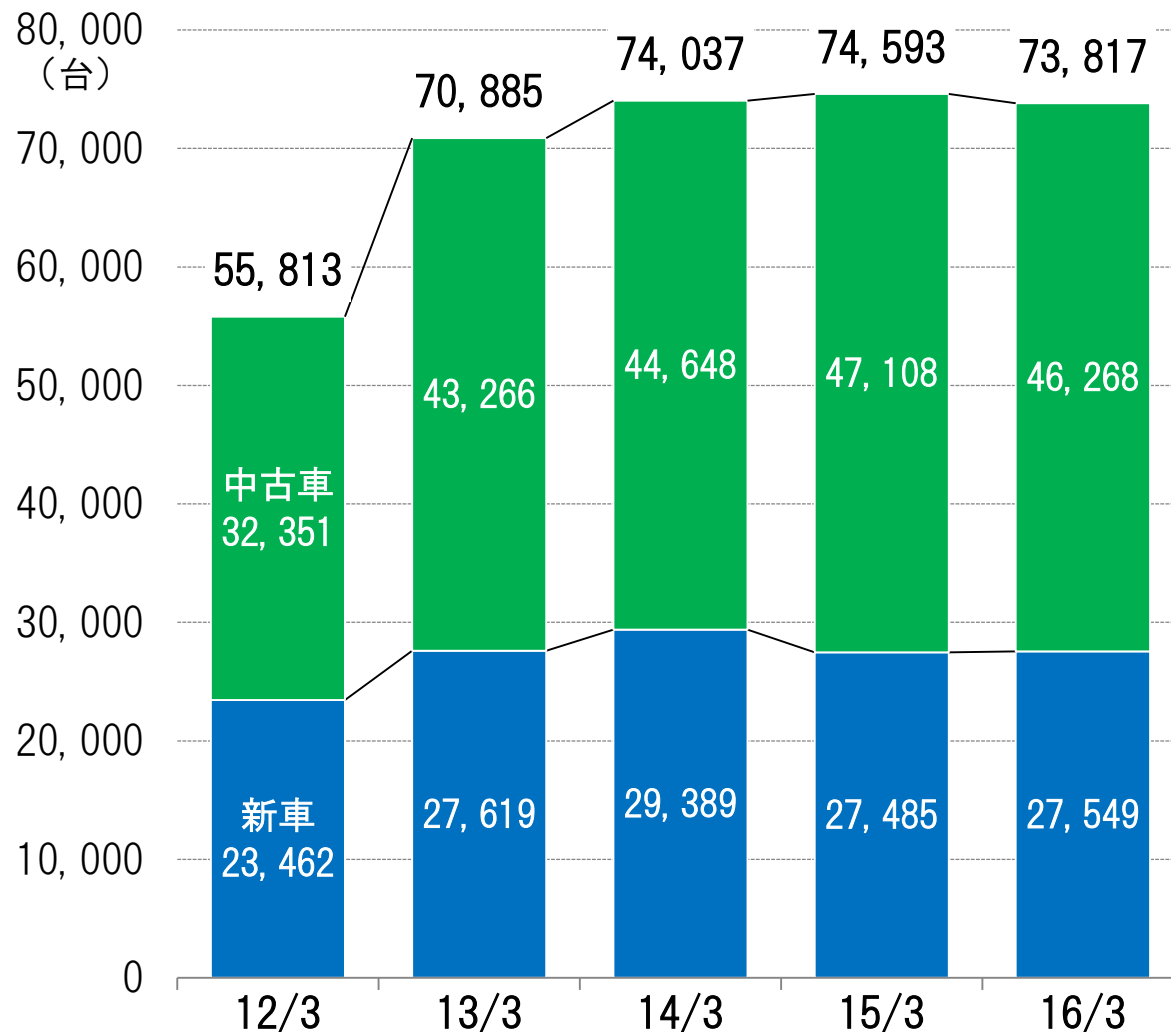
(2016年5月現在)

集計区分		会社名	ブランド	新車	中古車	合計
国内	ホンダ	ホンダカーズ東海	ホンダ	27	1	28
	日産	長野日産自動車	日産	32	4	36
		静岡日産自動車	日産	25	4	29
		三河日産自動車	日産	11	2	13
		日産サテリオ埼玉	日産	17	1	18
		日産サテリオ奈良	日産	7	1	8
	その他のディーラー	フォードライフ中部	スズキ	5	5	13
			フォード	3		
		モトーレン静岡	BMW	3	3	6
	インポーター	エルシーアイ	ロータス	2	-	2
レンタカー	J-netレンタリース	-	-	1	1	
小計				132	22	154
海外	その他のディーラー	Trust Absolut Auto	フィアット/ アルファロメオ	1	-	2
			プジョー	1		
		Sky Absolut Auto	スズキ	3	-	3
		CCR Motor	三菱	8	-	8
		Scotts Motors Artarmon	ホンダ	2	-	2
		Griffin Mill Garages	日産/ キア/ フィアット/ プジョー	2	-	2
		Wessex Garages Holdings	日産/ルノー/ダチア/フィアット/アバルト/キア/ヒュンダイ	7	-	7
	小計				24	-
合計				156	22	178

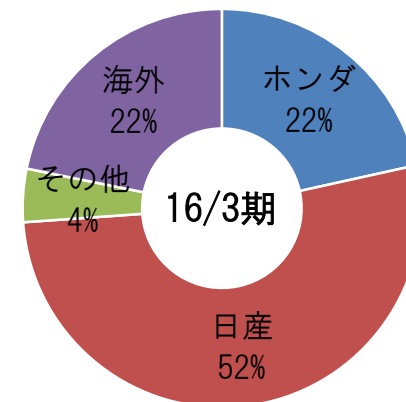
2016年4月
営業譲受2016年5月
株式取得

新車は前期並み、中古車は前期マイナス840台（1.8%）

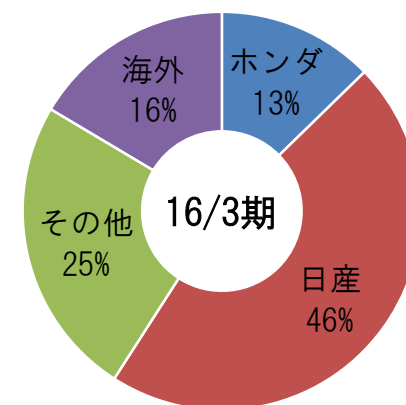
【V T グループの自動車販売台数の推移】



新車販売台数構成比



中古車販売台数構成比



主な子会社 ホンダカーズ東海



HONDA

＜愛知県尾張、 岐阜県西濃＞

・新車 27拠点

・中古車 1 拠点

増収減益

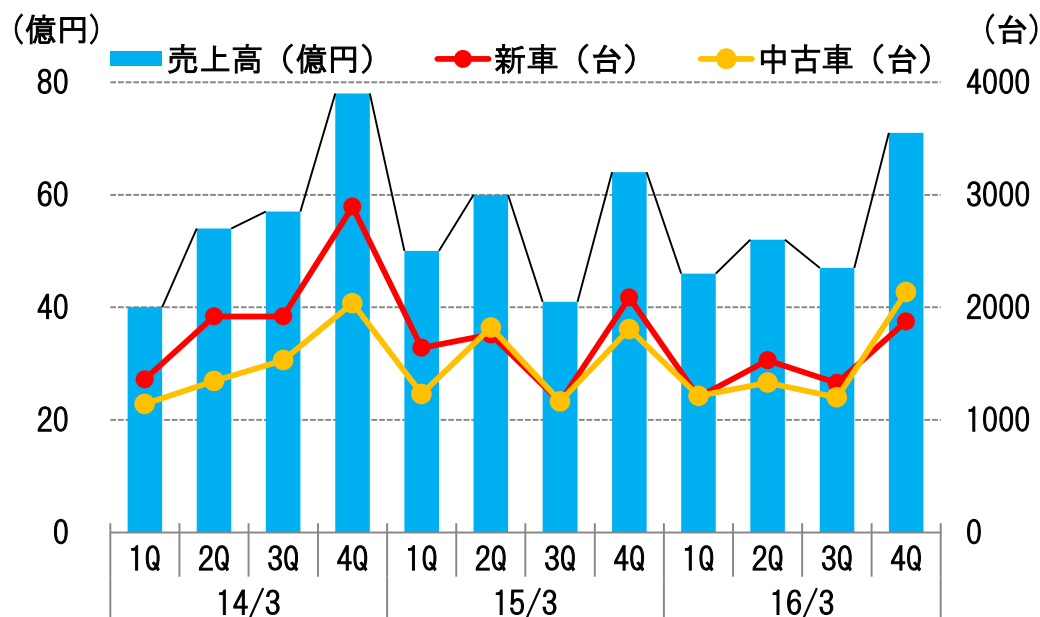
売上高経常利益率 6.3% (前年同期 7.4%)

連結売上高に対する構成比 14.9% (2016年3月期)

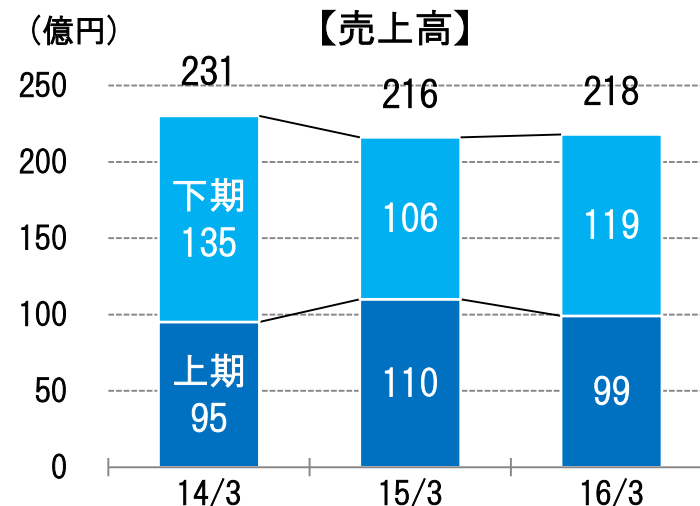
上場時の母体企業でもあり、ここで培われた運営ノウハウがグループ傘下の他のディーラーに注入され、収益性強化に寄与

一宮濃尾大橋店を新規OPEN 柳津店をリニューアルOPEN等

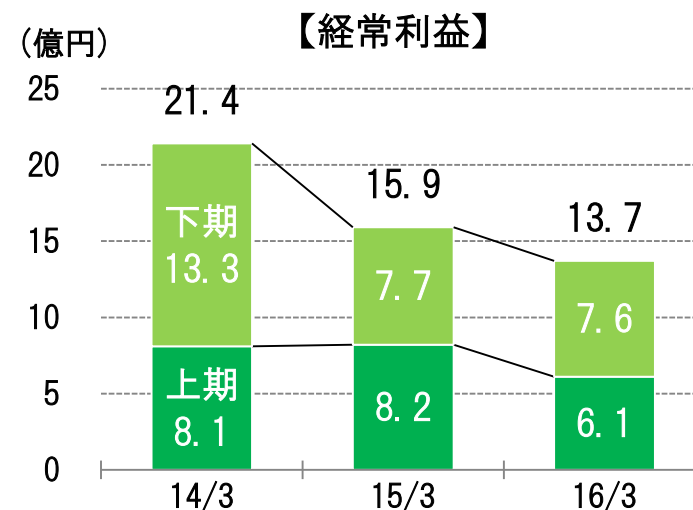
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】





ホンダ車のトピックス

売れ筋モデルがコンスタントにモデルチェンジ

2月4日「オデッセイ」にハイブリッドモデルを追加

10月28日 新型「CIVIC TYPE R」を発売

9月17日 コンパクトセダン「GRACE」ハイブリッド車を一部改良し発売

9月17日 「FIT」を一部改良し発売

9月17日 「ODYSSEY ABSOLUTE」に特別仕様車を設定し発売

8月27日 「CR-Z」をマイナーモデルチェンジして発売

7月30日 新型「ステップ ワゴン」「ステップ ワゴン スパーダ」に車いす仕様車を追加し発売

7月17日 「N-ONE」をマイナーモデルチェンジし発売

7月10日 「N-WGN」に新タイプと特別仕様車を設定し発売

7月10日 「N-BOX/N-BOX+」に特別仕様車を設定し発売

5月28日 「フリード」シリーズに特別仕様車「プレミアムエディション」を設定し発売

5月15日 新型コンパクトステーションワゴン「SHUTTLE」を発売

4月23日 「VEZEL」を一部改良し発売

4月23日 新型「ステップ ワゴン」「ステップ ワゴン スパーダ」を発売

4月16日 4軽乗用車「N-WGN/N-WGN Custom」を一部改良し発売



主な子会社 長野日産自動車



<長野県全域>

- ・新車 32拠点
- ・中古車 4拠点

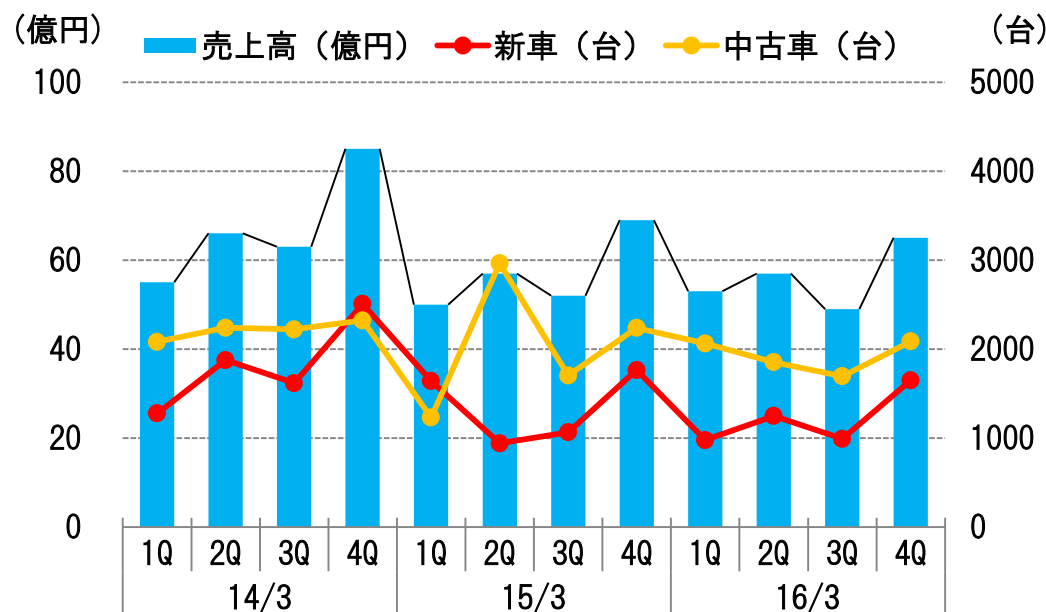
2006年1月に連結子会社化

減収増益

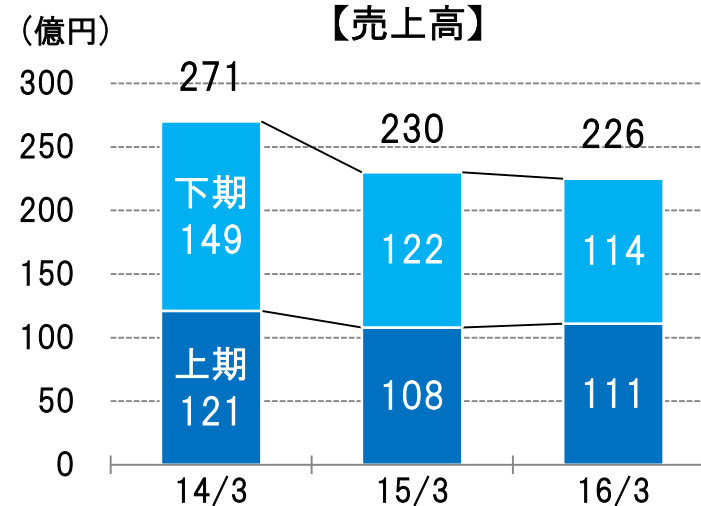
売上高経常利益率 11.3% (前年同期 10.5%)

連結売上高に対する構成比 15.5% (2016年3月期)

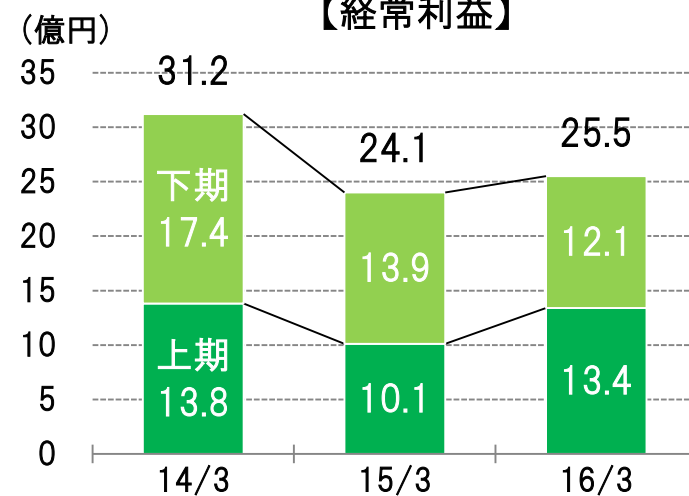
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】



主な子会社 静岡日産自動車



＜静岡県中東部＞

- ・新車 25拠点
- ・中古車 4拠点

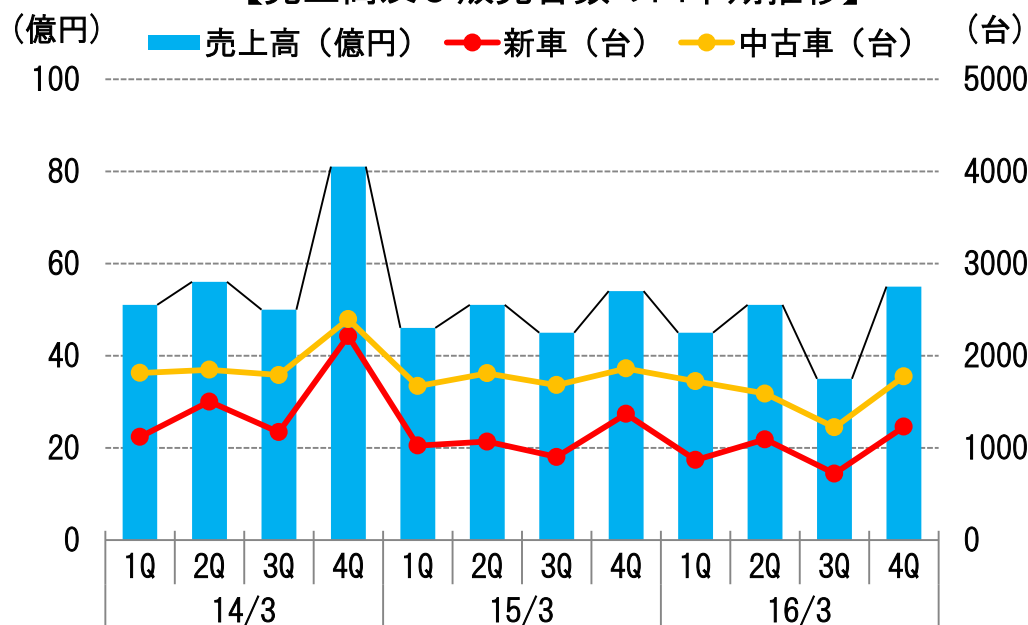
2006年7月に連結子会社化

減収増益

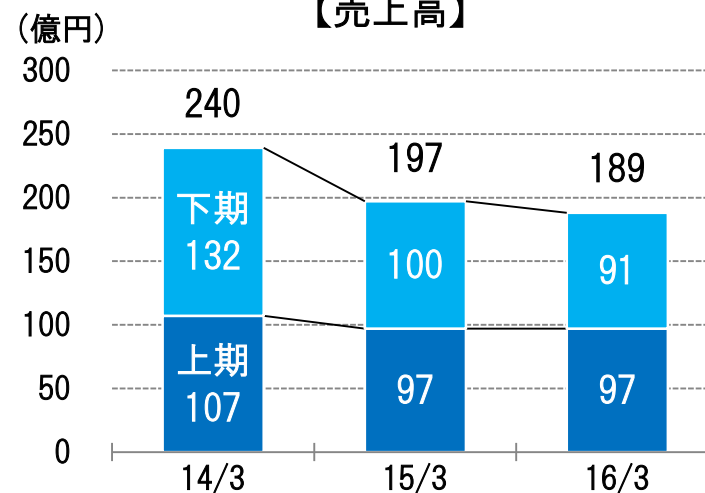
売上高経常利益率 9.7% (前年同期 9.2%)

連結売上高に対する構成比 12.9% (2016年3月期)

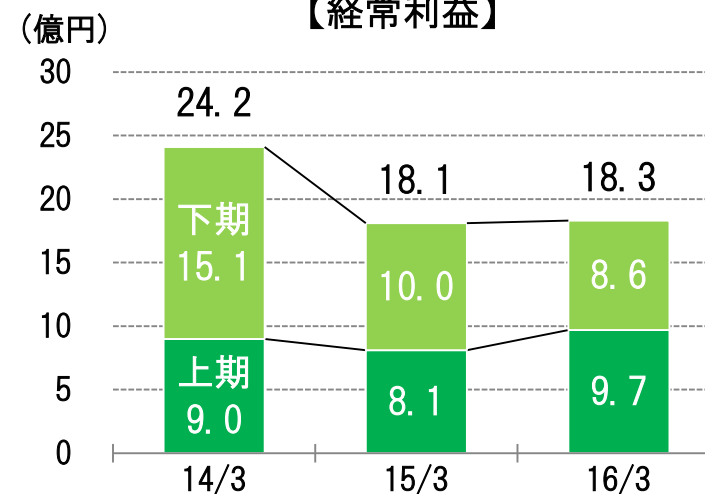
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】



主な子会社 三河日産自動車



〈愛知県西三河〉

・新車 11拠点

・中古車 2拠点

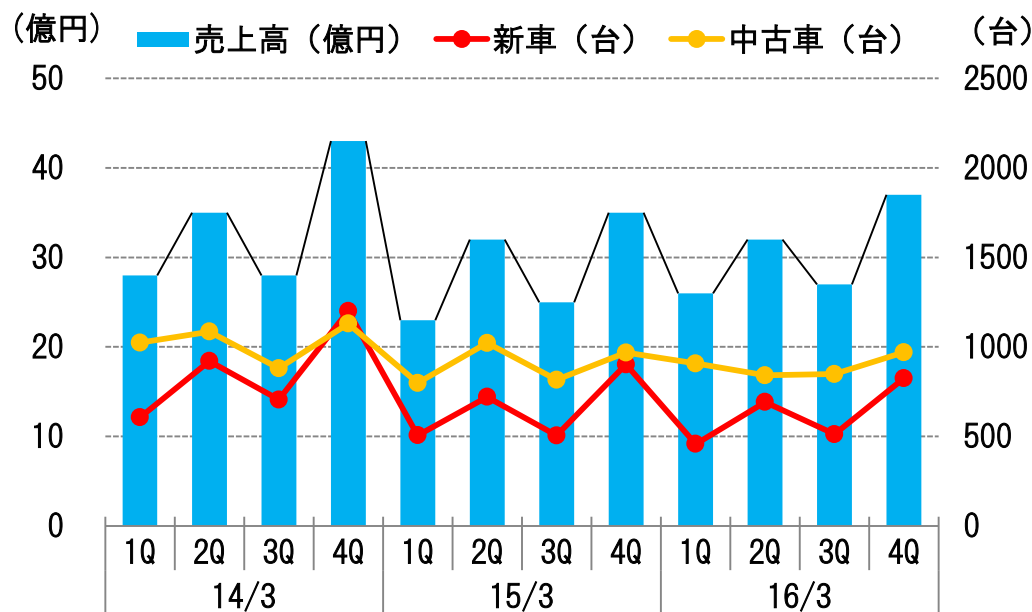
2006年7月に連結子会社化

増収増益

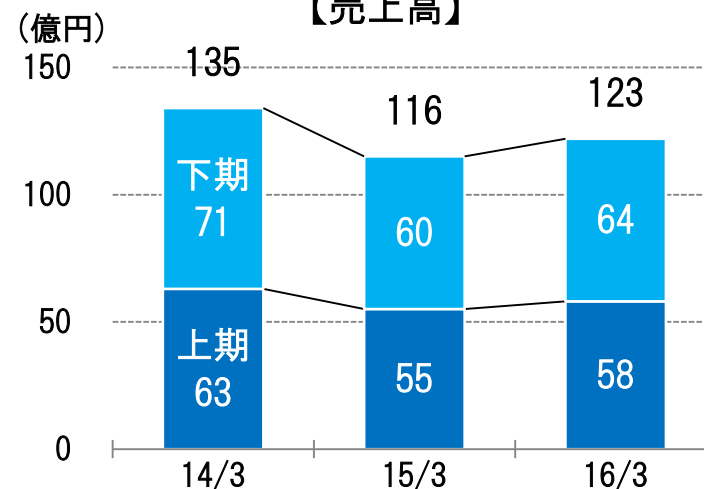
売上高経常利益率 6.8% (前年同期 5.5%)

連結売上高に対する構成比 8.4% (2016年3月期)

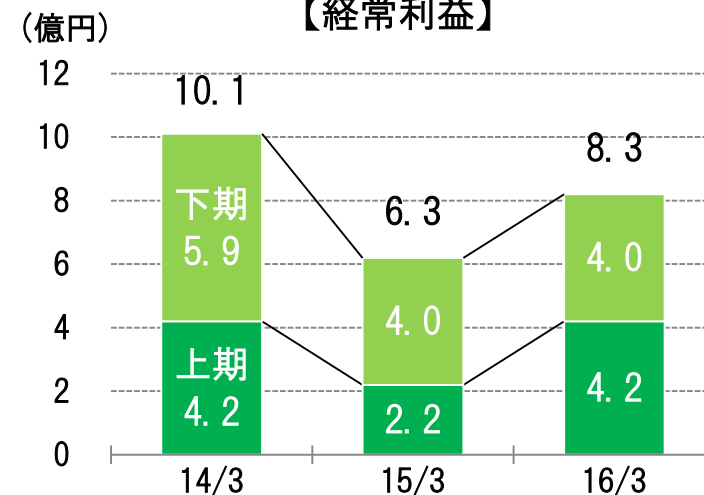
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】



主な子会社 日産サティオ埼玉



〈埼玉県東南部〉

・新車 17拠点

・中古車 1拠点

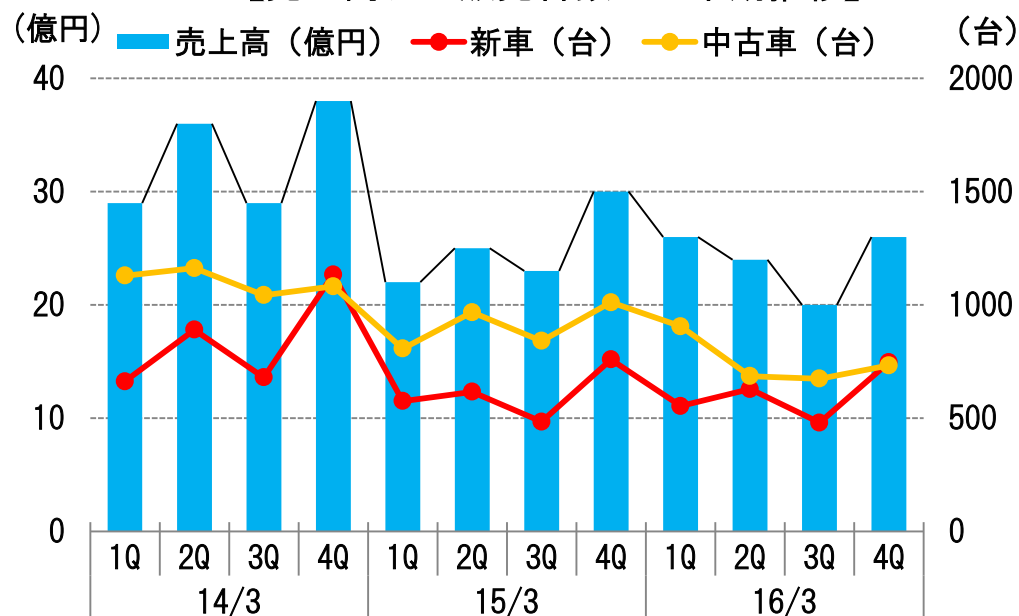
2012年4月に連結子会社化

減収増益

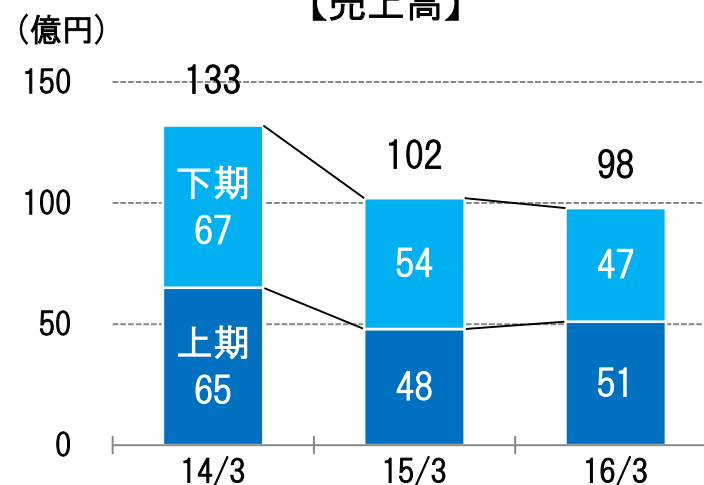
売上高経常利益率 6.2% (前年同期 4.3%)

連結売上高に対する構成比 6.7% (2016年3月期)

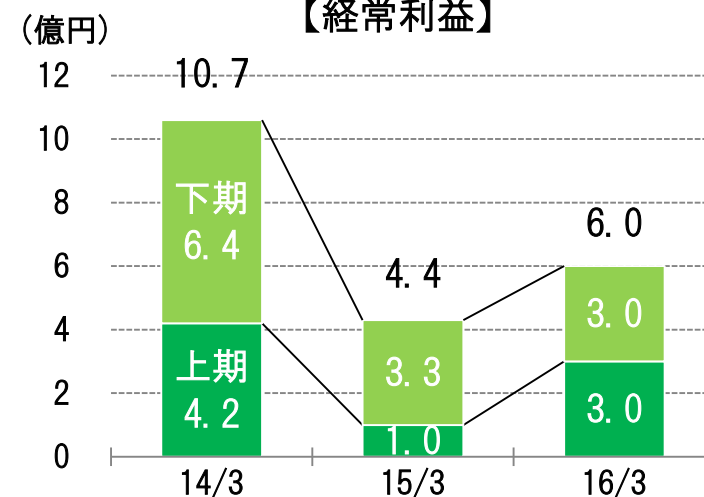
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】





新型車無く、マイナーチェンジがメイン

2/10 「NV100クリッパー」を一部仕様向上

1/26 「NV350キャラバン」を一部仕様向上

11/11 「ノート」の一部仕様を向上

11/10 「日産リーフ」をマイナーチェンジ

10/22 「日産デイズ」をマイナーチェンジ

08/26 「NT100 クリッパー」を一部改良

07/21 「フェアレディZ」を一部仕様向上

07/15 セレナの特別仕様車「ハイウェイスターVセレクション+Safety II」、「ハイウェイスター Vエアロモード+Safety II」
「20X Vセレクション+Safety」を発売あわせて一部仕様を変更

07/07 「ノート」をマイナーチェンジ

07/06 エクストレイル「モード・プレミア」を発売

05/25 「NV350キャラバントランスポーター」の仕様を一部変更

04/24 「NT450アトラス」を一部改良

04/23 「日産デイズ ルークス」を一部改良

04/16 「エルグランド」に新グレードを追加

04/07 「エクストレイル ハイブリッド」を発売



主な子会社 C C R



＜英国ロンドン及びイングランド南西部＞

・新車 8拠点

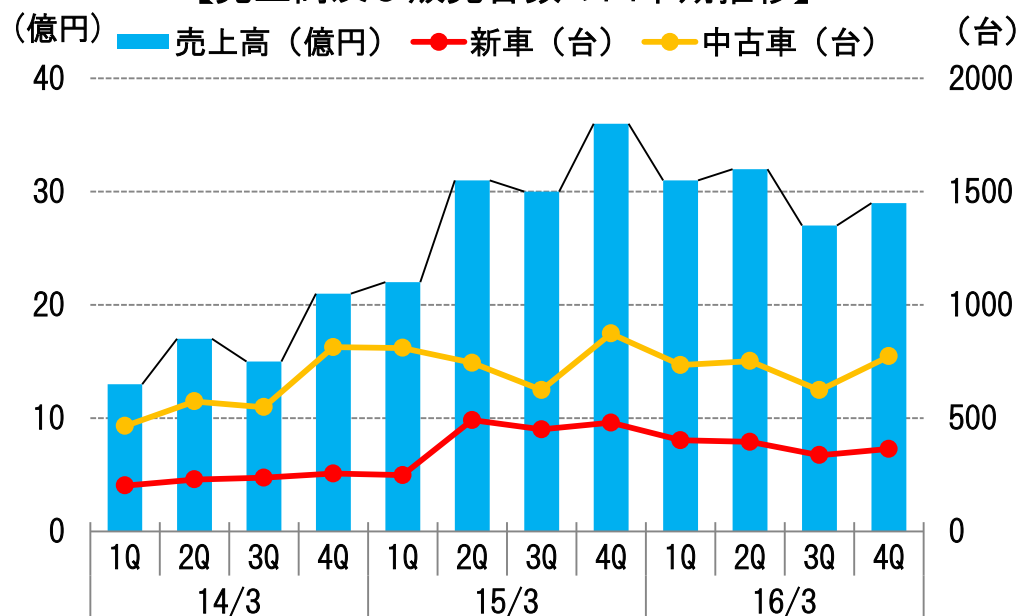
2012年4月に連結子会社化

英国最大の三菱自動車ディーラー

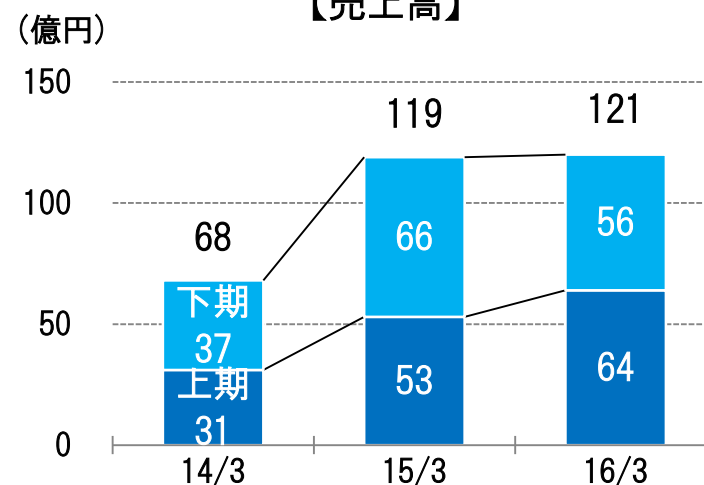
三菱車の販売不振に苦戦しながらも、中古車・サービス部門の収益性向上により、大幅な改善が進む

連結売上高に対する構成比 8.2% (2016年3月期)

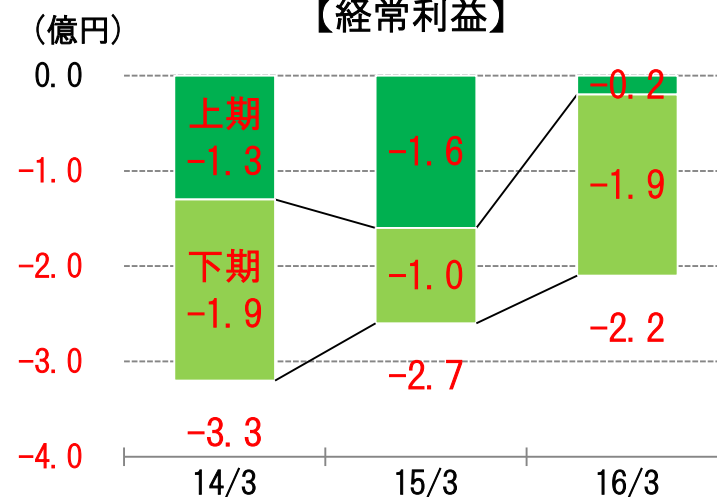
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】



主な子会社 G M G

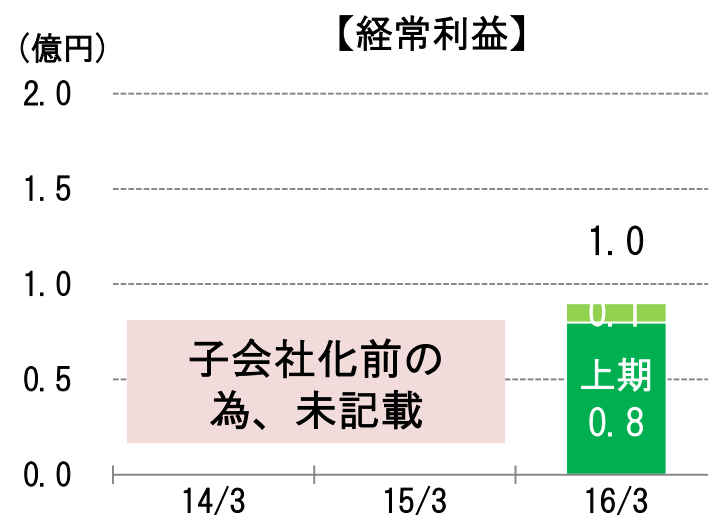
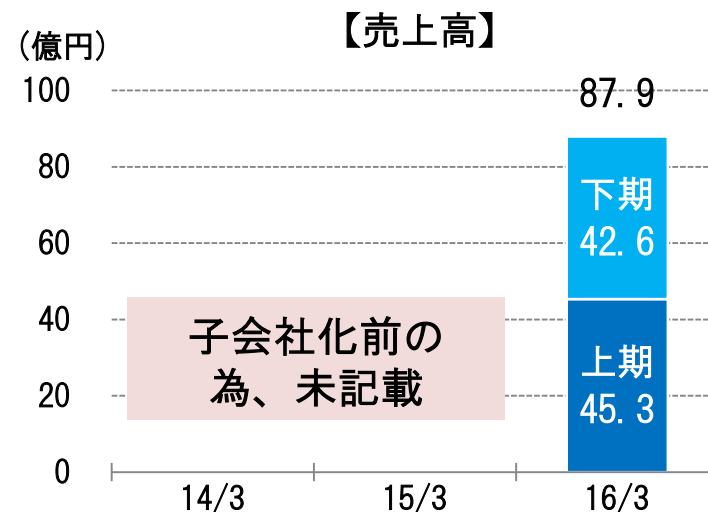
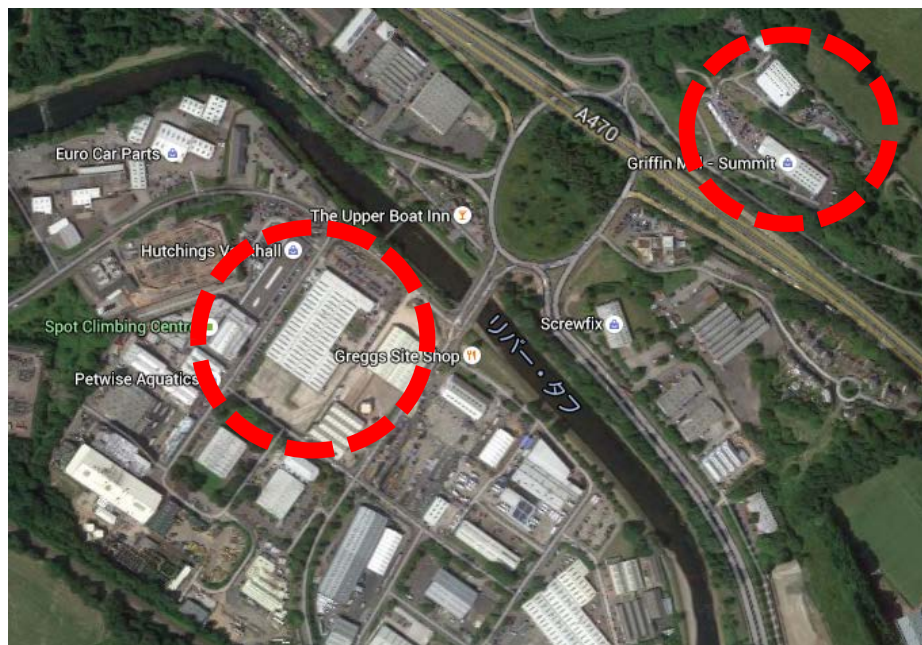


2014年12月5日付で株式を取得

Griffin Mill Garages Limitedは、イギリスのサウスウェールズ地方でマルチブランドの自動車ディーラーを2店舗展開。現在、PEUGEOT・KIA・FIAT・日産・RENAULT・DACIAの6ブランドを取扱い

売上高経常利益率 1.2%

連結売上高に対する構成比 6.0% (2016年3月期)



モトーレン静岡

2016年4月1日、営業譲渡によりBMWディーラーを開始

静岡県中東部において、新車3店舗・中古車3店舗を展開するBMW正規ディーラー

会社名 : (株)モトーレン静岡 (三盛自動車販売(株)より営業譲受)
本 社 : 静岡県静岡市駿河区
代表者 : 加藤和彦
売上高 : 52億円 (2015年3月期)
販売台数 : 新車542台、中古車499台 (2015年3月期)
従業員 : 82名



【新車店舗】
静岡BMW静岡店
富士店
沼津店



【認定中古車センター】
BMW Premium Selection焼津
静岡
沼津

BMW Shizuoka BMW



2016年5月6日、株式譲渡により子会社化

イギリスの南西部において、自動車ディーラー8店舗を運営し、日産、Renault、Dacia、Fiat、Abarth、Kia、Hyundaiの7ブランドを展開しております。

会社名 : Wessex Garages Holdngs Limited
 本 社 : Pennywell Road Bristol (英国)
 代表者 : Keith Barry Brock
 売上高 : 140百万GBP (2015年12月期)
 販売台数 : 新車4, 406台、中古車3, 983台 (2015年12月期)
 従業員 : 260名

wessex
GARAGES



	拠点	取扱ブランド
Cardiff	Hadfield Road Penarth Road	Nissan Kia, Fiat, Hyundai
Newport	Newport Retail Park Newport Retail Park	Kia, Fiat, Hyundai Renault/Dacia
Bristol	Pennywell Road Feeder Road Cribbs Causeway	Nissan Kia, Abarth Nissan
Gloucester	Mercia Road	Nissan, Kia, Fiat



主な子会社 トラスト



東証2部上場 (3347)

2015年8月1日マザーズより市場変更

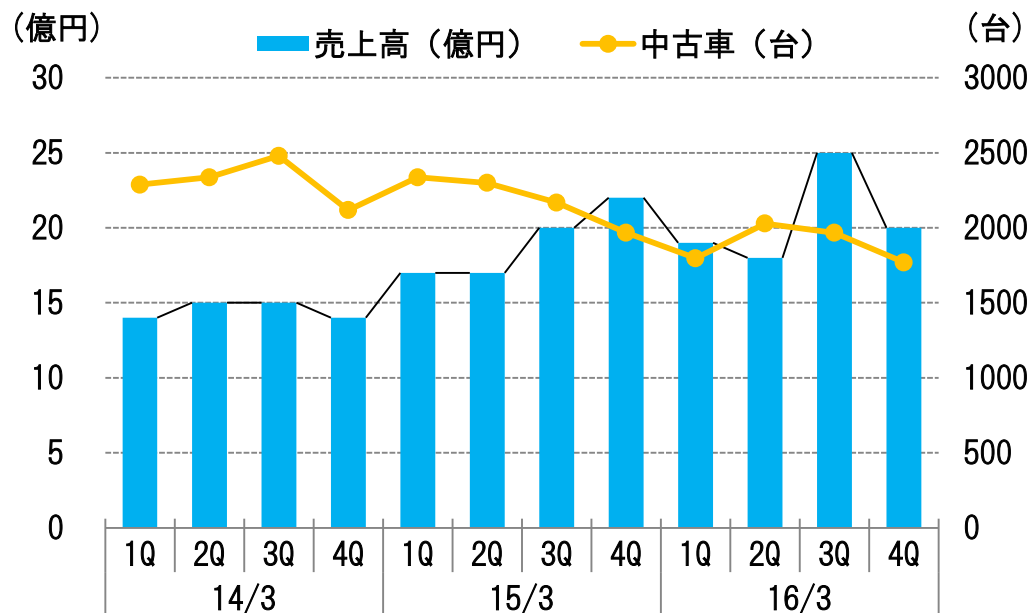
増収減益

車両ラインアップの強化、WEBサイトの改善、一部B2B販売の強化等に加え、主力のアフリカ地域での陸送サービス、アフターサービスの充実を図り、販売は堅調に推移

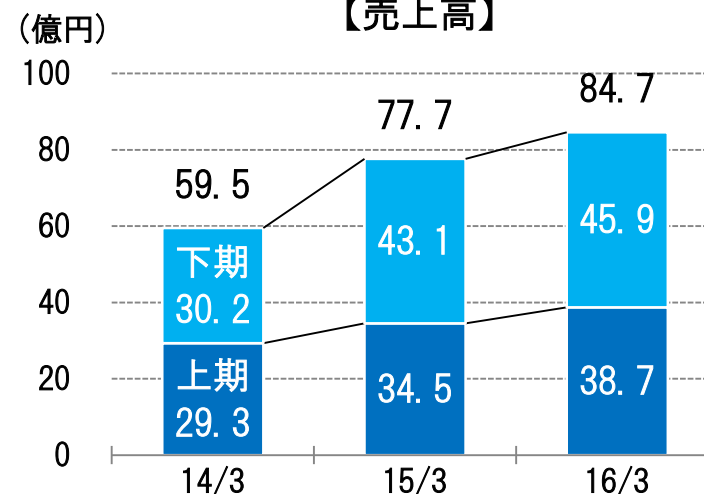
売上高経常利益率 4.0% (前年同期 5.6%)

連結売上高に対する構成比 5.8% (2016年3月期)

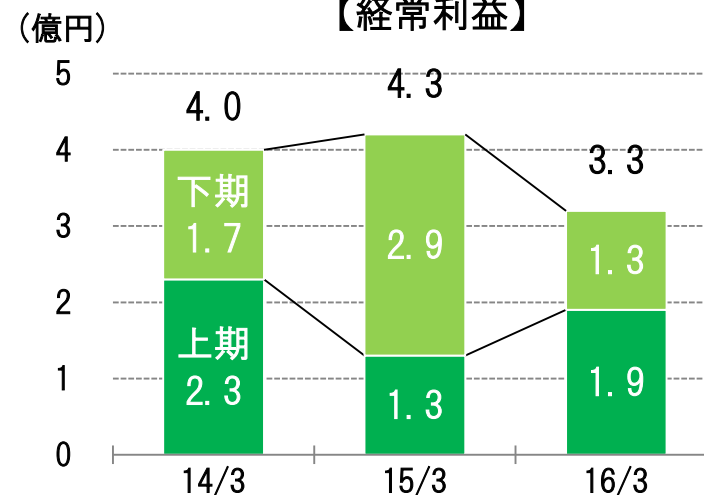
【売上高及び販売台数の四半期推移】



【売上高】



【経常利益】





直営店 33店舗
F C店 89店舗
計 122店舗
(2016年3月時点)

新規出店の効果もあり増収増益（売上・利益ともに過去最高）
予約サイトの強化、TVCMの継続実施等、個人顧客の獲得に注力

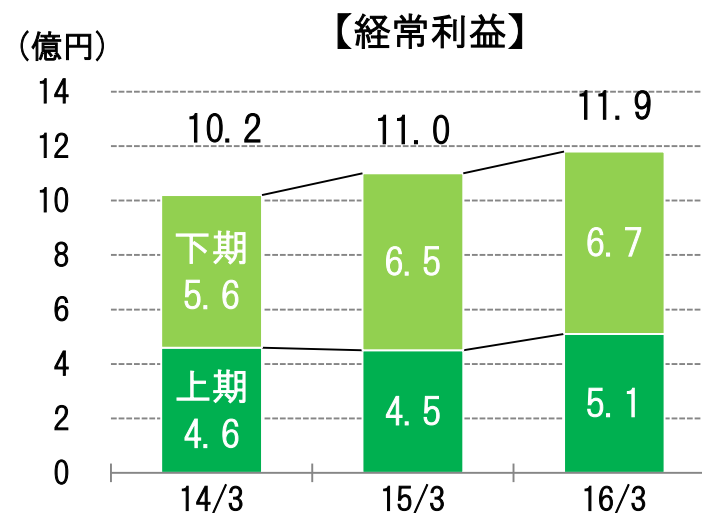
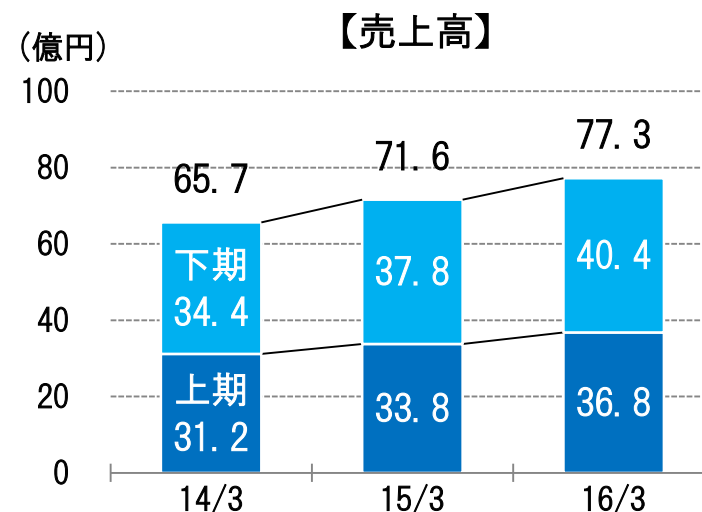
売上高経常利益率 15.4%（前期 15.4%）

連結売上高に対する構成比 5.3%（2016年3月期）

レンタカー保有台数は、国内第6位

1. トヨタレンタカー	107,076台
2. オリックスレンタカー	55,996台
3. ニッポンレンタカー	28,211台
4. タイムズレンタカー	26,018台
5. 日産レンタカー	18,211台
6. Jネットレンタカー	12,440台
7. ジャパンレンタカー	7,546台

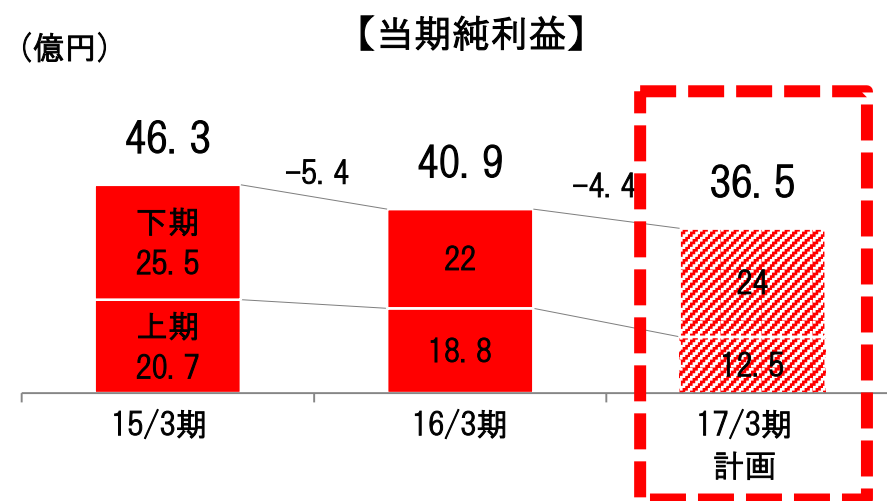
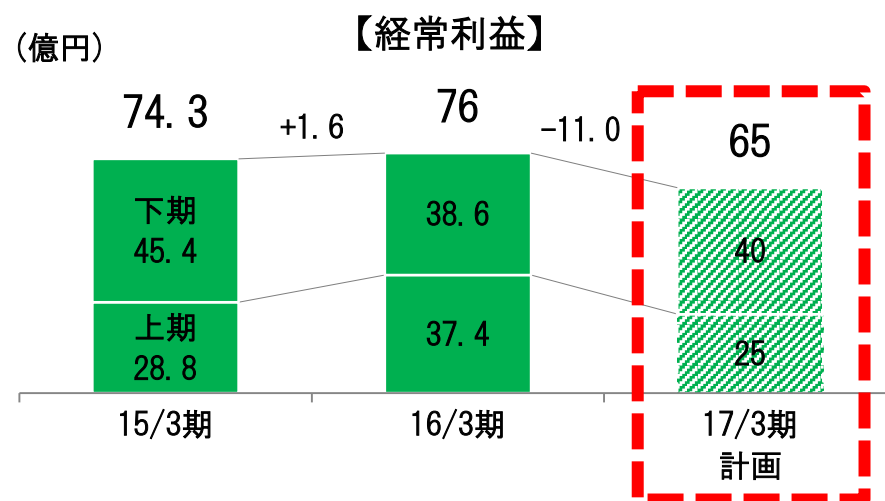
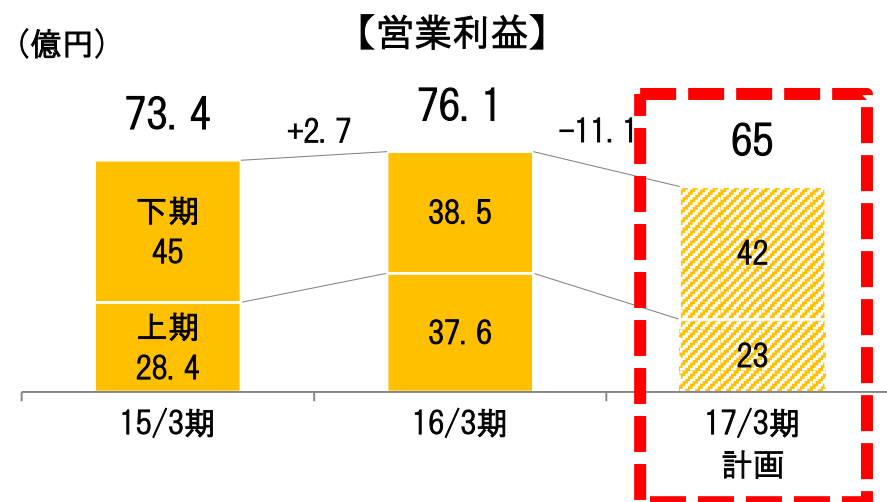
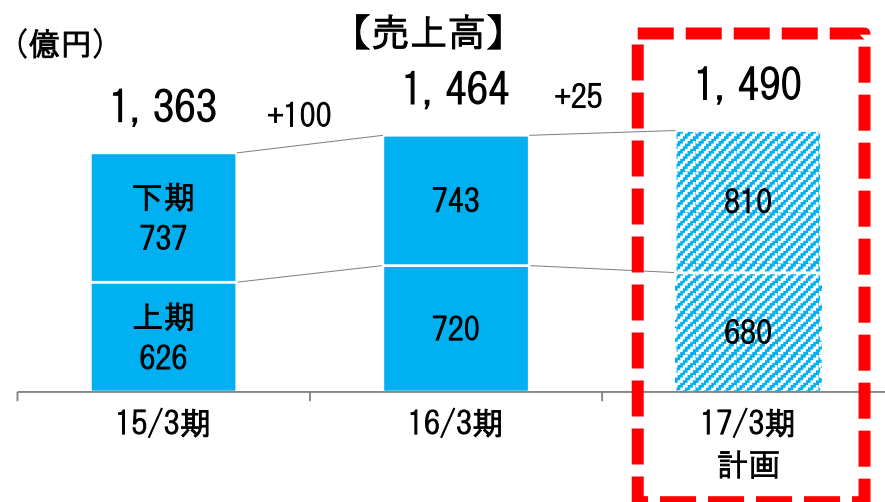
※2015.03時点。交通毎日新聞調べ。



2017年3月期 業績予想

M & Aが寄与し、売上高は過去最高を更新する見込み

M & Aによる増収・増益要因はあるものの、三菱自動車の燃費試験データ不正問題を考慮し、対象軽自動車については、上期中販売停止、かつ下期も販売台数前年比30%減とする計画値

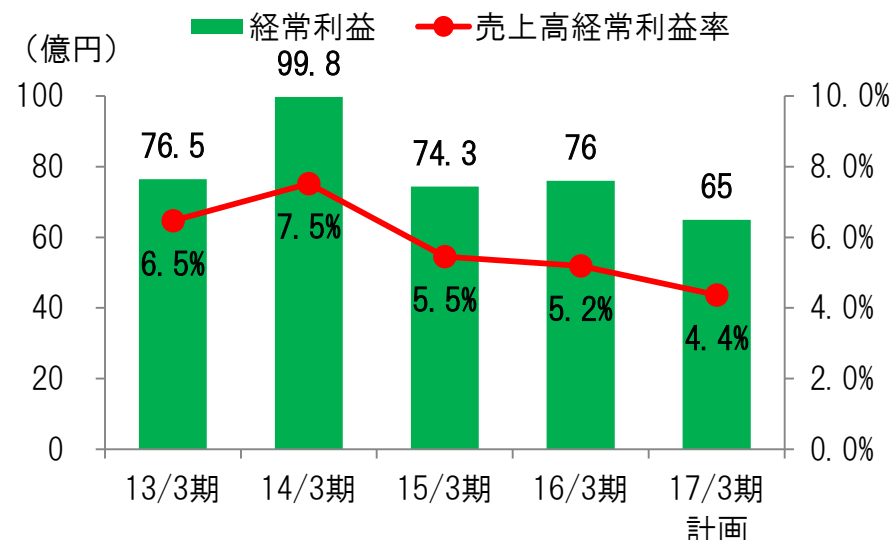


中期経営目標

高い収益効率の実現により、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指す

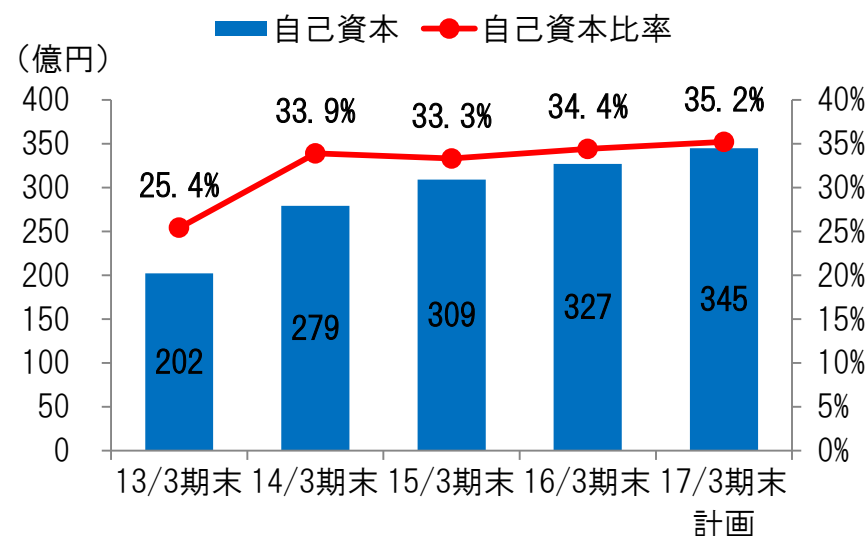
●売上高経常利益率 8%以上

- ✓ 2016年3月期の経常利益率は、5.2%
- ✓ 当社グループ内で最も高い収益性を誇る長野日産自動車（経常利益率11.3%）をベンチマークに、グループ全社の収益性向上を図る
- ✓ 多くの国内ディーラーは、連結目標を超えているため、海外自動車ディーラーの収益性向上がポイント



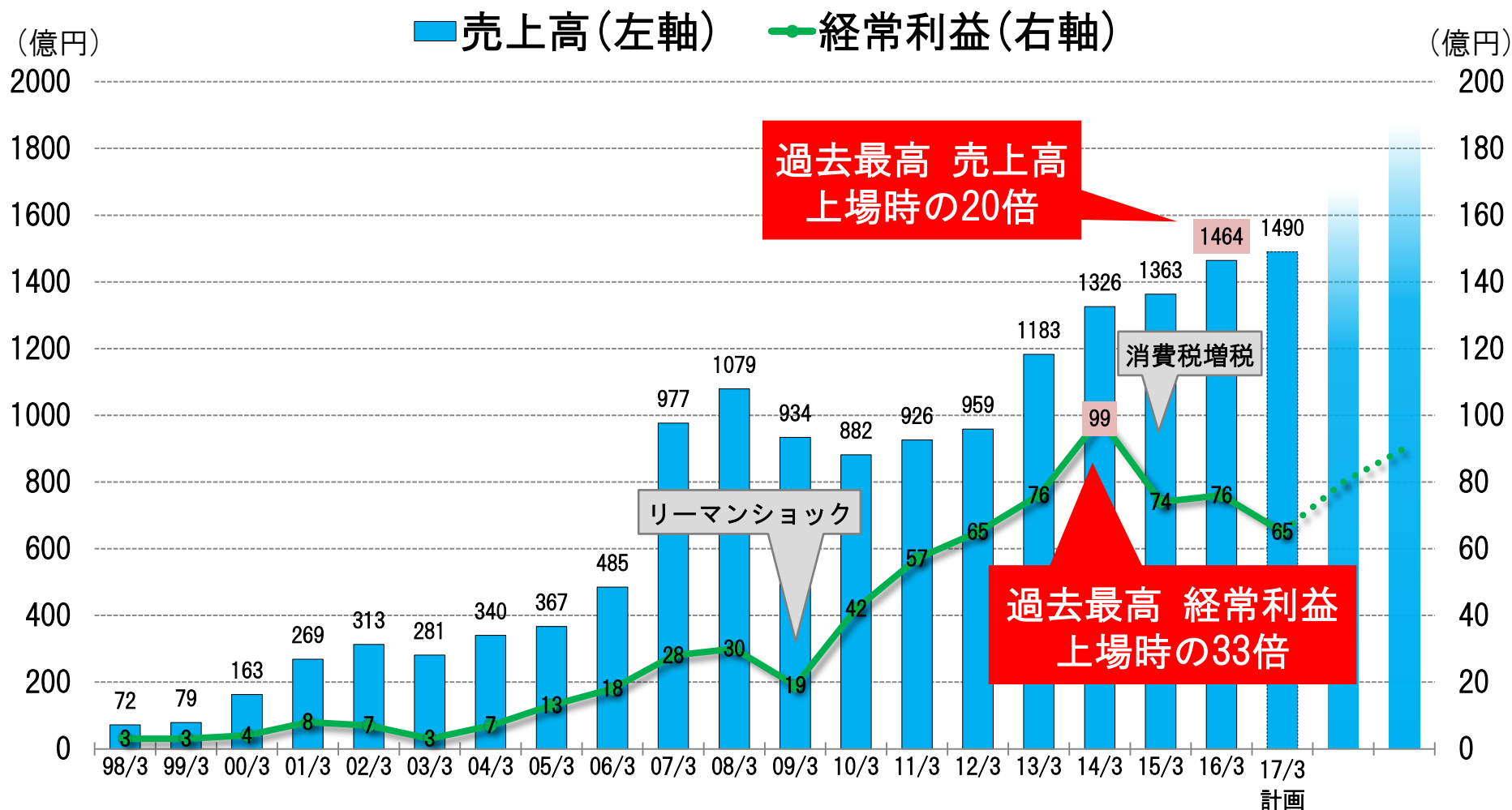
●自己資本比率 40%以上

- ✓ 2016年3月期の自己資本比率は、34.4%
- ✓ 営業キャッシュフローの範囲内で投資効率の高いM&Aを実現し、事業規模の拡大と財務の安定性の両立を図る



上場以来 売上高・経常利益

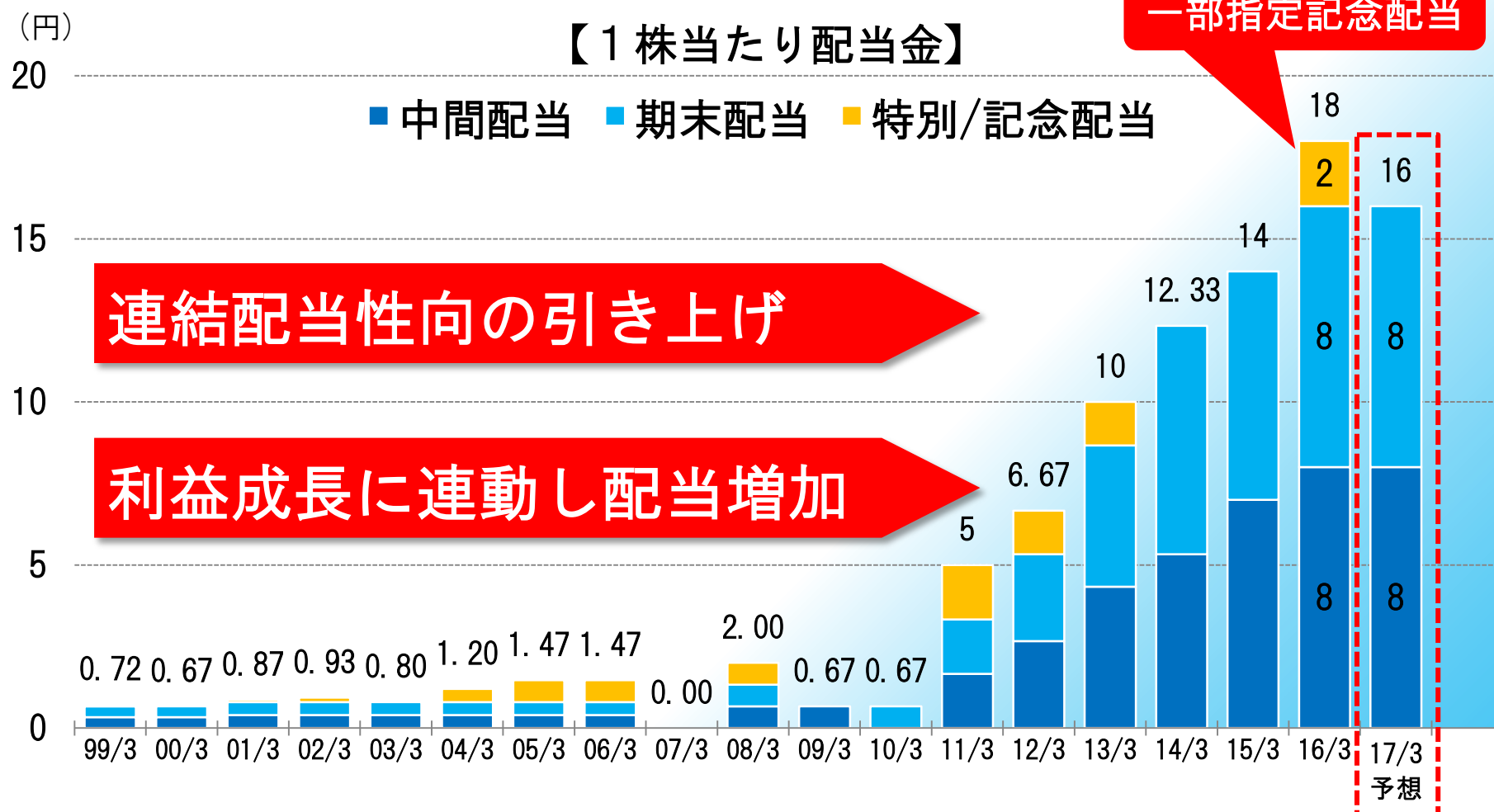
営業キャッシュフローの範囲内で、継続的にM & Aに取組み、
『事業規模の拡大』『収益性の向上』『財務体質の強化』
すべてのテーマをバランスさせた成長シナリオを目指す



配当政策について

2016年3月期は記念配当2円を含め年間18円

引き続き、連結配当性向40%以上を目途に、継続的な配当を実施する予定。
2017年3月期は、普通配当16円/年間を継続の見込。



(ご参考) 会社概要、沿革

社 名	V T ホールディングス株式会社	
設 立	1983年3月（前身：(株)ホンダベルノ東海）	
本 社	愛知県東海市	
資 本 金	42億9,730万円	(2016年3月末日現在)
主 な 事 業 内 容	自動車販売関連事業（売上構成比 96%）	(2016年3月期実績)
グ ル ー プ 従 業 員 数	2,579名	(2016年3月末日現在)
グ ル ー プ 構 成	連結子会社28社、持分法適用関係会社2社	(2016年3月末日現在)
発 行 済 株 式 数	119,381,034株	(2016年3月末日現在)

【沿革】

1983年3月	(株)ホンダベルノ東海を愛知県東海市に設立
1983年4月	本田技研工業(株)とベルノ店取引基本契約を締結 愛知県東海市加木屋町に東海店（第1号店）を開設
1998年9月	名古屋証券取引所市場第2部に上場
2000年6月	大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場（現・東京証券取引所 JASDAQ市場）に上場
2003年4月	自動車販売関連事業を(株)ホンダベルノ東海として分社すると同時に、商号をV T ホールディングス(株)に変更し、持株会社体制へ移行
2015年5月	東京証券取引所、名古屋証券取引所の市場第1部銘柄に指定

ディーラーを超えるディーラーへ

この資料は投資家の参考に資するため、VTホールディングス株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2016年5月20日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先

VTホールディングス株式会社
管理部総務グループ

T E L : 052-203-9500

H P : <http://www.vt-holdings.co.jp/>